



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和5年度
ICTモデル事業
大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

[illegible]

九州農政局

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

九州農政局

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			76,510,000	
・工事原価			64,803,000	
純工事費			48,695,000	
・直接工事費			43,160,000	
・ ・ ・ 直接工事費 (仮設工を除く)	1.000	式	42,893,000	
・ ・ ・ 直接工事費 (仮設工)	1.000	式	267,000	
・ 間接工事費			21,643,000	
・ ・ ・ 共通仮設費			5,535,000	
・ ・ ・ ・ 事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 運搬費～営繕費等				
$43,160,000 \times ((8.720 \times 1.200) \times 1.000 \times 1.020 \times 1.000)$			4,605,000	
・ ・ ・ ・ 運搬費	1.000	式	538,000	
・ ・ ・ ・ 準備費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 安全費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 役務費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 技術管理費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 営繕費等	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 現場環境改善費			392,000	
・ ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費 (率計上)				
$43,140,000 \times (0.910)$			392,000	
・ ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費 (積上)	1.000	式	0	
・ ・ ・ 現場管理費			16,108,000	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (率計上)				
$48,695,000 \times ((28.640 \times 1.100) \times 1.000 \times 1.050 \times 1.000 + 0.000 - 0.000)$			16,108,000	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (積上)	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (一般管理费率対象外)	1.000	式	0	
・ ・ ・ 工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・ 官貸額 (直工)	1.000	式	0	
・ 官貸額 (事業損失防止)	1.000	式	0	
・ 官貸額 (直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・ 一般管理費等				
$64,803,000 \times (18.030 \times 1.000 + 0.04)$			11,709,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費 (直工・事業損失防止)			0	
支給品費 (直工)			0	
処分費等 (直接工事費の内数)			20,000	
処分費 (準備費の内数)			0	
処分費 (事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等 (率対象外)			0	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

九州農政局

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)				42,893,000	
・支線水路分岐部ゲート設置工	1.000	式		14,753,000	
・・政所支線・馬場支線分岐部	1.000	式		5,971,000	
000001 既設コンクリート切断 t=50mm	10.500	m	1,795	18,848	歩A・単A B単 1号
000002 既設コンクリートはつり(人力) t=50mm,壁	0.200	m ²	6,603	1,321	歩A・単A B単 2号
000003 既設コンクリートはつり(人力) t=50mm,床	0.100	m ²	6,603	660	歩A・単A B単 3号
000004 既設コンクリート高压洗浄工 施工前	4.800	m ²	1,310	6,288	歩A・単A B単 4号
000005 支線水路分岐部ゲート(政所支線) アルミ製電動スライドゲート(1000×350),開閉装置	1.000	箇所	947,533	947,533	歩A・単A B単 5号
000006 支線水路分岐部ゲート(馬場支線) アルミ製電動スライドゲート(600×350),開閉装置	1.000	箇所	874,533	874,533	歩A・単A B単 6号
000007 ゲート監視制御装置(政所支線) (1000×350)	1.000	箇所	1,790,488	1,790,488	歩A・単A B単 7号
000008 ゲート監視制御装置(馬場支線) (600×350)	1.000	箇所	1,790,488	1,790,488	歩A・単A B単 8号
000009 水位計	2.000	箇所	270,488	540,976	歩A・単A B単 9号
合 計				5,971,135	
・・政所支線・一幹末支線分岐部	1.000	式		5,892,000	
000010 既設コンクリート切断 t=50mm	7.700	m	1,795	13,822	歩A・単A B単 10号
000011 既設コンクリートはつり(人力) t=50mm,壁	0.200	m ²	6,603	1,321	歩A・単A B単 11号
000012 既設コンクリートはつり(人力) t=50mm,床	0.200	m ²	6,603	1,321	歩A・単A B単 12号
000013 既設コンクリート高压洗浄工 施工前	3.500	m ²	1,310	4,585	歩A・単A B単 13号
000014 支線水路分岐部ゲート(政所支線) アルミ製スライドゲート(580×400),開閉装置	1.000	箇所	874,533	874,533	歩A・単A B単 14号
000015 支線水路分岐部ゲート(一幹末支線) アルミ製スライドゲート(580×400),開閉装置	1.000	箇所	874,533	874,533	歩A・単A B単 15号
000016 ゲート監視制御装置(政所支線) (580×400)	1.000	箇所	1,790,488	1,790,488	歩A・単A B単 16号
000017 ゲート監視制御装置(一幹末支線) (580×400)	1.000	箇所	1,790,488	1,790,488	歩A・単A B単 17号
000018 水位計	2.000	箇所	270,488	540,976	歩A・単A B単 18号
合 計				5,892,067	
・・馬場支線4号分水工	1.000	式		2,890,000	
000019 既設コンクリート切断 t=50mm	3.700	m	1,795	6,642	歩A・単A B単 19号
000020 既設コンクリートはつり(人力) t=50mm,壁	0.090	m ²	6,603	594	歩A・単A B単 20号
000021 既設コンクリートはつり(人力) t=50mm,床	0.030	m ²	6,603	198	歩A・単A B単 21号
000022 4号分水ゲート アルミ製スライドゲート(300×200),開閉装置	1.000	箇所	821,400	821,400	歩A・単A B単 22号
000023 ゲート監視制御装置 (300×200)	1.000	箇所	1,790,488	1,790,488	歩A・単A B単 23号
000024 水位計	1.000	箇所	270,488	270,488	歩A・単A B単 24号
合 計				2,889,810	
・自動給水ゲート設置工	1.000	式		28,140,000	
・・作業土工(自動給水ゲート周辺部)	1.000	式		141,000	
000025 床掘 土砂	34.000	m ³	2,006	68,204	歩A・単A B単 25号
000026 埋戻し 流用土	18.000	m ³	4,070	73,260	歩A・単A B単 26号
合 計				141,464	
・・作業土工(給水管部)	1.000	式		516,000	
000027 床掘 土砂	85.000	m ³	2,006	170,510	歩A・単A B単 27号

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
000028 埋戻し 流用土	85.000	m ³	4,070	345,950	歩A・単A B単 28号
合 計				516,460	
・ ・ 既設構造物取壊し工	1.000	式		232,000	
000029 構造物取壊し コンクリート,有筋	3.400	m ³	50,970	173,298	歩A・単A B単 29号
000030 構造物取壊し コンクリート,無筋	0.700	m ³	30,190	21,133	歩A・単A B単 30号
000031 殻運搬 コンクリート,有筋	3.400	m ³	4,343	14,766	歩A・単A B単 31号
000032 殻運搬 コンクリート,無筋	0.700	m ³	3,023	2,116	歩A・単A B単 32号
000033 殻処分 コンクリート,有筋	8.500	ton	2,000	17,000	歩A・単A B単 33号
000034 殻処分 コンクリート,無筋	1.600	ton	2,000	3,200	歩A・単A B単 34号
合 計				231,513	
・ ・ コンクリート工 現場打水路・均しコンクリート	1.000	式		626,000	
000035 コンクリート工 18-8-25(20)(高炉B)	5.700	m ³	34,550	196,935	歩A・単A B単 35号
000036 型枠 (構造物)	52.000	m ²	7,611	395,772	歩A・単A B単 36号
000037 均しコンクリート 18-8-20	0.600	m ³	29,630	17,778	歩A・単A B単 37号
000038 型枠 (均しコンクリート)	3.600	m ²	4,270	15,372	歩A・単A B単 38号
合 計				625,857	
・ ・ 自動給水ゲート取付水路等	1.000	式		2,045,000	
000039 水路工 A-BF250型	21.000	m	11,140	233,940	歩A・単A B単 39号
000040 水路工 A-BF300型	17.000	m	12,517	212,789	歩A・単A B単 40号
000041 水路工 A-BF500型	5.000	m	30,341	151,705	歩A・単A B単 41号
000042 樹工 B-二次製品樹型	18.000	箇所	80,346	1,446,228	歩A・単A B単 42号
合 計				2,044,662	
・ ・ 給水管整備工	1.000	式		389,000	
000043 硬質ポリ塩化ビニル管 VPφ150mm	23.700	m	3,393	80,414	歩A・単A B単 43号
000044 硬質ポリ塩化ビニル管継手材 VPφ150mm 22° 1/2 ベント	31.000	箇所	9,955	308,605	歩A・単A B単 44号
合 計				389,019	
・ ・ 自動給水ゲート設置工	1.000	式		8,600,000	
000045 給水ゲート 角落し仕様 アルミ製スライドゲート(150×150)	46.000	箇所	111,618	5,134,428	歩A・単A B単 45号
000046 給水ゲート アンカー固定仕様 アルミ製スライドゲート(150×150)	9.000	箇所	128,349	1,155,141	歩A・単A B単 46号
000047 給水ゲート 樹仕様 アルミ製スライドゲート(150×150)	18.000	箇所	128,349	2,310,282	歩A・単A B単 47号
合 計				8,599,851	
・ ・ 自動給水機器設置工	1.000	式		14,268,000	
000048 自動給水機器 通信機器,電動アクチュエータ,操作パネル,ソーラー	73.000	箇所	156,725	11,440,925	歩A・単A B単 48号
000049 水位・水温計 - 0.05m~0.25m, 0° ~40℃	73.000	箇所	38,728	2,827,144	歩A・単A B単 49号
合 計				14,268,069	
・ ・ 通信中継機設置工	1.000	式		1,323,000	

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

九州農政局

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

九州農政局

[illegible]

事業名	ICTモデル事業					
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事					
工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
000001	*** B単ー 1号 *** 既設コンクリート切断					
	t=50mm		m	1,795		歩A・単A
000002	*** B単ー 2号 *** 既設コンクリートはつり(人力)					
	t=50mm, 壁		m ²	6,603		歩A・単A
000003	*** B単ー 3号 *** 既設コンクリートはつり(人力)					
	t=50mm, 床		m ²	6,603		歩A・単A
000004	*** B単ー 4号 *** 既設コンクリート高圧洗浄工					
	施工前		m ²	1,310		歩A・単A
000005	*** B単ー 5号 *** 支線水路分岐部ゲート(政所支線)					
	アルミ製電動スライドゲート(1000×350),開閉装置		箇所	947,533		歩A・単A
000006	*** B単ー 6号 *** 支線水路分岐部ゲート(馬場支線)					
	アルミ製電動スライドゲート(600×350),開閉装置		箇所	874,533		歩A・単A
000007	*** B単ー 7号 *** ゲート監視制御装置(政所支線)					
	(1000×350)		箇所	1,790,488		歩A・単A
000008	*** B単ー 8号 *** ゲート監視制御装置(馬場支線)					
	(600×350)		箇所	1,790,488		歩A・単A
000009	*** B単ー 9号 *** 水位計					
			箇所	270,488		歩A・単A
000010	*** B単ー 10号 *** 既設コンクリート切断					
	t=50mm		m	1,795		歩A・単A
000011	*** B単ー 11号 *** 既設コンクリートはつり(人力)					
	t=50mm, 壁		m ²	6,603		歩A・単A
000012	*** B単ー 12号 *** 既設コンクリートはつり(人力)					
	t=50mm, 床		m ²	6,603		歩A・単A
000013	*** B単ー 13号 *** 既設コンクリート高圧洗浄工					
	施工前		m ²	1,310		歩A・単A
000014	*** B単ー 14号 *** 支線水路分岐部ゲート(政所支線)					
	アルミ製スライドゲート(580×400),開閉装置		箇所	874,533		歩A・単A
000015	*** B単ー 15号 *** 支線水路分岐部ゲート(一幹末支線)					
	アルミ製スライドゲート(580×400),開閉装置		箇所	874,533		歩A・単A
000016	*** B単ー 16号 *** ゲート監視制御装置(政所支線)					
	(580×400)		箇所	1,790,488		歩A・単A
000017	*** B単ー 17号 *** ゲート監視制御装置(一幹末支線)					
	(580×400)		箇所	1,790,488		歩A・単A
000018	*** B単ー 18号 *** 水位計					
			箇所	270,488		歩A・単A
000019	*** B単ー 19号 *** 既設コンクリート切断					
	t=50mm		m	1,795		歩A・単A
000020	*** B単ー 20号 *** 既設コンクリートはつり(人力)					
	t=50mm, 壁		m ²	6,603		歩A・単A
000021	*** B単ー 21号 *** 既設コンクリートはつり(人力)					
	t=50mm, 床		m ²	6,603		歩A・単A
000022	*** B単ー 22号 *** 4号分水ゲート					

事業名	ICTモデル事業					
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事					
工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	アルミ製スライドゲート(300×200),開閉装置		箇所	821,400		歩A・単A
000023	*** B単ー 23号 ***					
	ゲート監視制御装置					
	(300×200)		箇所	1,790,488		歩A・単A
000024	*** B単ー 24号 ***					
	水位計					
			箇所	270,488		歩A・単A
000025	*** B単ー 25号 ***					
	床掘					
	土砂		m3	2,006		歩A・単A
000026	*** B単ー 26号 ***					
	埋戻し					
	流用土		m3	4,070		歩A・単A
000027	*** B単ー 27号 ***					
	床掘					
	土砂		m3	2,006		歩A・単A
000028	*** B単ー 28号 ***					
	埋戻し					
	流用土		m3	4,070		歩A・単A
000029	*** B単ー 29号 ***					
	構造物取壊し					
	コンクリート,有筋		m3	50,970		歩A・単A
000030	*** B単ー 30号 ***					
	構造物取壊し					
	コンクリート,無筋		m3	30,190		歩A・単A
000031	*** B単ー 31号 ***					
	殻運搬					
	コンクリート,有筋		m3	4,343		歩A・単A
000032	*** B単ー 32号 ***					
	殻運搬					
	コンクリート,無筋		m3	3,023		歩A・単A
000033	*** B単ー 33号 ***					
	殻処分					
	コンクリート,有筋		ton	2,000		歩A・単A
000034	*** B単ー 34号 ***					
	殻処分					
	コンクリート,無筋		ton	2,000		歩A・単A
000035	*** B単ー 35号 ***					
	コンクリート工					
	18-8-25(20)(高炉B)		m3	34,550		歩A・単A
000036	*** B単ー 36号 ***					
	型枠(構造物)					
			m ²	7,611		歩A・単A
000037	*** B単ー 37号 ***					
	均しコンクリート					
	18 - 8 - 20		m3	29,630		歩A・単A
000038	*** B単ー 38号 ***					
	型枠(均しコンクリート)					
			m ²	4,270		歩A・単A
000039	*** B単ー 39号 ***					
	水路工					
	A-BF250型		m	11,140		歩A・単A
000040	*** B単ー 40号 ***					
	水路工					
	A-BF300型		m	12,517		歩A・単A
000041	*** B単ー 41号 ***					
	水路工					
	A-BF500型		m	30,341		歩A・単A
000042	*** B単ー 42号 ***					
	樹工					
	B-二次製品樹型		箇所	80,346		歩A・単A
000043	*** B単ー 43号 ***					
	硬質ポリ塩化ビニル管					
	VPφ150mm		m	3,393		歩A・単A

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B単ー 1号 ***					
000001	既設コンクリート切断 t=50mm		m		1,000 m	歩A 当たり算出
T00017	既設コンクリート切断 手動式、ブレード径、コンクリート面、厚さ20～30mm	1.000	m	1,795	1,795	T単 13号
	合 計				1,795	
	単 価				1,795	
	*** B単ー 2号 ***					
000002	既設コンクリートはつり(人力) t=50mm、壁		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
S03020	コンクリートはつり(人力) 壁、3<t≤6cm	1.000	m ²	6,603	6,603	S単 12号
	合 計				6,603	
	単 価				6,603	
	*** B単ー 3号 ***					
000003	既設コンクリートはつり(人力) t=50mm、床		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
S03020	コンクリートはつり(人力) 床、3<t≤6cm	1.000	m ²	6,603	6,603	S単 13号
	合 計				6,603	
	単 価				6,603	
	*** B単ー 4号 ***					
000004	既設コンクリート高圧洗浄工 施工前		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
S14601	高圧洗浄工 高圧洗浄工、30Mpa	1.000	m ²	1,310	1,310	S単 18号
	合 計				1,310	
	単 価				1,310	
	*** B単ー 5号 ***					
000005	支線水路分岐部ゲート(政所支線) アルミ製電動スライドゲート(1000×350)、開閉装置		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
P96040	アルミ製スライドゲート1000×350 3方ゴム水密	1.000	箇所	540,000	540,000	
P96052	開閉装置	1.000	箇所	311,000	311,000	
T00010	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート) 1000×350	1.000	箇所	96,533	96,533	T単 6号
	合 計				947,533	
	単 価				947,533	
	*** B単ー 6号 ***					
000006	支線水路分岐部ゲート(馬場支線) アルミ製電動スライドゲート(600×350)、開閉装置		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
P96041	アルミ製スライドゲート600×350 3方ゴム水密	1.000	箇所	467,000	467,000	
P96052	開閉装置	1.000	箇所	311,000	311,000	
T00011	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート) 600×350	1.000	箇所	96,533	96,533	T単 7号
	合 計				874,533	
	単 価				874,533	
	*** B単ー 7号 ***					
000007	ゲート監視制御装置(政所支線) (1000×350)		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
P96048	ゲート監視制御機器	1.000	箇所	1,710,000	1,710,000	

事業名	ICTモデル事業					
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事					
工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
T00006	ゲート監視装置据付（支線分水ゲート設備） 太陽光パネル、バッテリー含む	1.000	箇所	80,488	80,488	T単 4号
	合 計				1,790,488	
	単 価				1,790,488	
	*** B単ー 8号 ***					
000008	ゲート監視制御装置(馬場支線) (600×350)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
P96048	ゲート監視制御機器	1.000	箇所	1,710,000	1,710,000	
T00006	ゲート監視装置据付（支線分水ゲート設備） 太陽光パネル、バッテリー含む	1.000	箇所	80,488	80,488	T単 4号
	合 計				1,790,488	
	単 価				1,790,488	
	*** B単ー 9号 ***					
000009	水位計		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
P96053	水位計 支線ゲート	1.000	箇所	190,000	190,000	
T00007	水位計据付（支線分水ゲート設備）	1.000	箇所	80,488	80,488	T単 5号
	合 計				270,488	
	単 価				270,488	
	*** B単ー 10号 ***					
000010	既設コンクリート切断 t=50mm		m		1.000 m	歩A 当たり算出
T00017	既設コンクリート切断 手動式、ブレード径、コンクリート面、厚さ20～30mm	1.000	m	1,795	1,795	T単 13号
	合 計				1,795	
	単 価				1,795	
	*** B単ー 11号 ***					
000011	既設コンクリートはつり(人力) t=50mm、壁		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
S03020	コンクリートはつり(人力) 壁、3<t≤6cm	1.000	m ²	6,603	6,603	S単 12号
	合 計				6,603	
	単 価				6,603	
	*** B単ー 12号 ***					
000012	既設コンクリートはつり(人力) t=50mm、床		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
S03020	コンクリートはつり(人力) 床、3<t≤6cm	1.000	m ²	6,603	6,603	S単 13号
	合 計				6,603	
	単 価				6,603	
	*** B単ー 13号 ***					
000013	既設コンクリート高圧洗浄工 施工前		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
S14601	高圧洗浄工 高圧洗浄工、30Mpa	1.000	m ²	1,310	1,310	S単 18号
	合 計				1,310	
	単 価				1,310	
	*** B単ー 14号 ***					

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
000014	支線水路分岐部ゲート(政所支線)					歩A
	アルミ製スライドゲート(580×400),開閉装置		箇所		1.000 箇所	当たり算出
P96046	アルミ製スライドゲート580×400	1.000	箇所	467,000	467,000	
P96052	3方ゴム水密					
	開閉装置	1.000	箇所	311,000	311,000	
T00012	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート)	1.000	箇所	96,533	96,533	T単 8号
	(580×400)					
	合 計				874,533	
	単 価				874,533	
	*** B単ー 15号 ***					
000015	支線水路分岐部ゲート(一幹末支線)					歩A
	アルミ製スライドゲート(580×400),開閉装置		箇所		1.000 箇所	当たり算出
P96046	アルミ製スライドゲート580×400	1.000	箇所	467,000	467,000	
P96052	3方ゴム水密					
	開閉装置	1.000	箇所	311,000	311,000	
T00012	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート)	1.000	箇所	96,533	96,533	T単 8号
	(580×400)					
	合 計				874,533	
	単 価				874,533	
	*** B単ー 16号 ***					
000016	ゲート監視制御装置(政所支線)					歩A
	(580×400)		箇所		1.000 箇所	当たり算出
P96048	ゲート監視制御機器	1.000	箇所	1,710,000	1,710,000	
T00006	ゲート監視装置据付(支線分水ゲート設備)	1.000	箇所	80,488	80,488	T単 4号
	太陽光パネル、バッテリー含む					
	合 計				1,790,488	
	単 価				1,790,488	
	*** B単ー 17号 ***					
000017	ゲート監視制御装置(一幹末支線)					歩A
	(580×400)		箇所		1.000 箇所	当たり算出
P96048	ゲート監視制御機器	1.000	箇所	1,710,000	1,710,000	
T00006	ゲート監視装置据付(支線分水ゲート設備)	1.000	箇所	80,488	80,488	T単 4号
	太陽光パネル、バッテリー含む					
	合 計				1,790,488	
	単 価				1,790,488	
	*** B単ー 18号 ***					
000018	水位計					歩A
			箇所		1.000 箇所	当たり算出
P96053	水位計	1.000	箇所	190,000	190,000	
	支線ゲート					
T00007	水位計据付(支線分水ゲート設備)	1.000	箇所	80,488	80,488	T単 5号
	合 計				270,488	
	単 価				270,488	
	*** B単ー 19号 ***					
000019	既設コンクリート切断					歩A
	t=50mm		m		1.000 m	当たり算出
T00017	既設コンクリート切断	1.000	m	1,795	1,795	T単 13号
	手動式、ブレード径,コンクリート面,厚さ20～30mm					
	合 計				1,795	
	単 価				1,795	
	*** B単ー 20号 ***					

事業名	ICTモデル事業				
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事				

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
000020	既設コンクリートはつり(人力) t=50mm, 壁		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S03020	コンクリートはつり(人力) 壁, 3<t≤6cm	1,000	m ²	6,603	6,603	S単 12号
	合 計				6,603	
	単 価				6,603	
	*** B単ー 21号 ***					
000021	既設コンクリートはつり(人力) t=50mm, 床		m ²		1,000	歩A 当たり算出
S03020	コンクリートはつり(人力) 床, 3<t≤6cm	1,000	m ²	6,603	6,603	S単 13号
	合 計				6,603	
	単 価				6,603	
	*** B単ー 22号 ***					
000022	4号分水ゲート アルミ製スライドゲート(300×200), 開閉装置		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96050	アルミ製スライドゲート300×200 4方ゴム水密	1,000	箇所	438,000	438,000	
P96052	開閉装置	1,000	箇所	311,000	311,000	
T00013	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート) (300×200)	1,000	箇所	72,400	72,400	T単 9号
	合 計				821,400	
	単 価				821,400	
	*** B単ー 23号 ***					
000023	ゲート監視制御装置 (300×200)		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96048	ゲート監視制御機器	1,000	箇所	1,710,000	1,710,000	
T00006	ゲート監視装置据付(支線分水ゲート設備) 太陽光パネル、バッテリー含む	1,000	箇所	80,488	80,488	T単 4号
	合 計				1,790,488	
	単 価				1,790,488	
	*** B単ー 24号 ***					
000024	水位計		箇所		1,000	歩A 当たり算出
P96053	水位計 支線ゲート	1,000	箇所	190,000	190,000	
T00007	水位計据付(支線分水ゲート設備)	1,000	箇所	80,488	80,488	T単 5号
	合 計				270,488	
	単 価				270,488	
	*** B単ー 25号 ***					
000025	床掘 土砂		m ³		1,000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂, 上記以外(小規模), -, -,	1,000	m ³	2,006	2,006	S単 25号
	合 計				2,006	
	単 価				2,006	
	*** B単ー 26号 ***					
000026	埋戻し 流用土		m ³		1,000	歩A 当たり算出
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂, 小規模(標準)	1,000	m ³	1,047	1,047	S単 24号
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土, 埋戻, まき出し, 人力タコ	1,000	m ³	3,023	3,023	S単 1号

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				4,070	
	単 価				4,070	
	*** B単一 27号 ***					
000027	床掘 土砂		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂, 上記以外(小規模), 〃, 〃,	1.000	m3	2,006	2,006	S単 25号
	合 計				2,006	
	単 価				2,006	
	*** B単一 28号 ***					
000028	埋戻し 流用土		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0102	SP 積込(ルーズ) 土砂, 小規模(標準)	1.000	m3	1,047	1,047	S単 24号
S01041	人土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土, 埋戻, まき出し, 人力タコ	1.000	m3	3,023	3,023	S単 1号
	合 計				4,070	
	単 価				4,070	
	*** B単一 29号 ***					
000029	構造物取壊し コンクリート, 有筋		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02721	【構造物取壊し】 有筋, なし, 人力, 昼間施工,	1.000	m3	50,970	50,970	S単 10号
	合 計				50,970	
	単 価				50,970	
	*** B単一 30号 ***					
000030	構造物取壊し コンクリート, 無筋		m3		1,000	歩A 当たり算出
S02721	【構造物取壊し】 無筋, なし, 人力, 昼間施工,	1.000	m3	30,190	30,190	S単 11号
	合 計				30,190	
	単 価				30,190	
	*** B単一 31号 ***					
000031	殻運搬 コンクリート, 有筋		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0221	SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とこわし, 機械積込, 無し, 28.4km以下,	1.000	m3	4,343	4,343	S単 26号
	合 計				4,343	
	単 価				4,343	
	*** B単一 32号 ***					
000032	殻運搬 コンクリート, 無筋		m3		1,000	歩A 当たり算出
SA0221	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とこわし, 機械積込, 無し, 23.2km以下,	1.000	m3	3,023	3,023	S単 27号
	合 計				3,023	
	単 価				3,023	
	*** B単一 33号 ***					
000033	殻処分 コンクリート, 有筋		ton		1,000	歩A 当たり算出
S02123	殻処分費 鉄筋	1.000	ton	2,000	2,000	S単 8号

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				2,000	
	単 価				2,000	
	*** B単一 34号 ***					
000034	殻処分 コンクリート, 無筋		ton		1,000 ton	歩A 当たり算出
S02123	殻処分費 無筋	1,000	ton	2,000	2,000	S単 9号
	合 計				2,000	
	単 価				2,000	
	*** B単一 35号 ***					
000035	コンクリート工 18-8-25(20)(高炉B)		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 小型構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, , 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	1,000	m3	34,550	34,550	S単 28号
	合 計				34,550	
	単 価				34,550	
	*** B単一 36号 ***					
000036	型枠 (構造物)		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠, 小型構造物	1,000	m ²	7,611	7,611	S単 30号
	合 計				7,611	
	単 価				7,611	
	*** B単一 37号 ***					
000037	均しコンクリート 18 - 8 - 20		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 無し, -, , 18-8-25(20)(高炉B) W/C65%	1,000	m3	29,630	29,630	S単 29号
	合 計				29,630	
	単 価				29,630	
	*** B単一 38号 ***					
000038	型枠 (均しコンクリート)		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
SA0312	SP 型枠 一般型枠, 均しコンクリート	1,000	m ²	4,270	4,270	S単 31号
	合 計				4,270	
	単 価				4,270	
	*** B単一 39号 ***					
000039	水路工 A-BF250型		m		1,000 m	歩A 当たり算出
P96016	深型水路BF250	1,000	式	8,200	8,200	
S05001	鉄筋コンクリートフレーム機械据付工 250, バックホウ (クレーン機能付) クレーン型, 受台無し, あり	1,000	m	2,940	2,940	S単 14号
	合 計				11,140	
	単 価				11,140	
	*** B単一 40号 ***					

事業名	ICTモデル事業					
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事					
工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
000040	水路工					歩A
	A-BF300型		m		1,000 m	当たり算出
P96017	深型水路BF300					
		1,000	式	9,400	9,400	
S05001	鉄筋コンクリートフリーム機械据付工					
	300,ﾊﾞｯｸﾎﾞｳ (ｸﾚﾝ機能付) ｸﾚﾝ型,受台無し,あり	1,000	m	3,117	3,117	S単 15号
	合 計				12,517	
	単 価				12,517	
	*** B単ー 41号 ***					
000041	水路工					歩A
	A-BF500型		m		1,000 m	当たり算出
P96018	深型水路BF500					
		1,000	式	25,600	25,600	
S05001	鉄筋コンクリートフリーム機械据付工					
	500,ﾊﾞｯｸﾎﾞｳ (ｸﾚﾝ機能付) ｸﾚﾝ型,受台無し,あり	1,000	m	4,741	4,741	S単 16号
	合 計				30,341	
	単 価				30,341	
	*** B単ー 42号 ***					
000042	樹工					歩A
	B-二次製品樹型		箇所		1,000 箇所	当たり算出
P96022	集水樹					
	630×630×810低版付	1,000	箇所	76,900	76,900	
SA0551	SP コンクリート分水槽据付					
	据付,80kgを超え200kg以下,無し,あり	1,000	基	3,446	3,446	S単 32号
	合 計				80,346	
	単 価				80,346	
	*** B単ー 43号 ***					
000043	硬質ポリ塩化ビニル管					歩A
	VPφ150mm		m		1,000 m	当たり算出
S07021	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	VP,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所	1,000	m	3,393	3,393	S単 17号
	合 計				3,393	
	単 価				3,393	
	*** B単ー 44号 ***					
000044	硬質ポリ塩化ビニル管継手材					歩A
	VPφ150mm 22° 1/2 ベント		箇所		1,000 箇所	当たり算出
P96027	硬質ポリ塩化ビニル管					
	VPφ150mm 22° 1/2 ベント	1,000	個	9,955	9,955	
	合 計				9,955	
	単 価				9,955	
	*** B単ー 45号 ***					
000045	給水ゲート 角落し仕様					歩A
	アルミ製スライドゲート(150×150)		箇所		1,000 箇所	当たり算出
P96001	給水ゲート 角落し仕様					
		1,000	箇所	107,000	107,000	
T00014	アルミ製スライドゲート据付(自動給水ゲート)					
	角落し仕様	1,000	箇所	4,618	4,618	T単 10号
	合 計				111,618	
	単 価				111,618	
	*** B単ー 46号 ***					
000046	給水ゲート アンカー固定仕様					歩A
	アルミ製スライドゲート(150×150)		箇所		1,000 箇所	当たり算出
P96002	給水ゲート アンカー固定仕様					
		1,000	箇所	107,000	107,000	
T00015	アルミ製スライドゲート据付(自動給水ゲート)					
	アンカー固定仕様	1,000	箇所	21,349	21,349	T単 11号

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合 計				128,349	
	単 価				128,349	
	*** B単一 47号 ***					
000047	給水ゲート 樹仕様 アルミ製スライドゲート(150×150)		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
P96003	給水ゲート 樹仕様	1,000	箇所	107,000	107,000	
T00016	アルミ製スライドゲート据付 (自動給水ゲート) 樹仕様	1,000	箇所	21,349	21,349	T単 12号
	合 計				128,349	
	単 価				128,349	
	*** B単一 48号 ***					
000048	自動給水機器 通信機器,電動アクチュエータ,操作パネル,ソーラー		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
P96004	自動給水機器 本体・バッテリー	1,000	箇所	149,000	149,000	
T00001	自動給水機器据付 本体・バッテリー	1,000	箇所	7,725	7,725	T単 1号
	合 計				156,725	
	単 価				156,725	
	*** B単一 49号 ***					
000049	水位・水温計 - 0.05m～0.25m, 0° ～40℃		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
P96005	水位水温計	1,000	箇所	33,200	33,200	
T00002	水位水温計据付	1,000	箇所	5,528	5,528	T単 2号
	合 計				38,728	
	単 価				38,728	
	*** B単一 50号 ***					
000050	通信中継機 ソーラーパネル電源仕様		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
P96009	通信中継機(ソーラー電源仕様)	1,000	箇所	327,000	327,000	
T00003	通信中継機据付	1,000	箇所	49,318	49,318	T単 3号
P96011	ソーラーパネルユニット	1,000	箇所	285,000	285,000	
	合 計				661,318	
	単 価				661,318	
	*** B単一 51号 ***					
000051	仮設進入路敷鉄板設置・撤去 t=22mm		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
S18054	敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去, 15, 1, なし	1,000	m ²	569	569	S単 22号
	合 計				569	
	単 価				569	
	*** B単一 52号 ***					
000052	仮締切土のう工 現地発生土使用		m ³		1,000 m ³	歩A 当たり算出
S18001	土のう工 仕拵え～設置～撤去	1,000	m ³	28,951	28,951	S単 19号
	合 計				28,951	
	単 価				28,951	

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻)					
	粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ		m3	3,023		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S02111	コンクリートカット[乾式]					
	コンクリートカット[乾式]					
	切削深20cm級 フレート径44～56cm		日	152		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S02115	はつり工					
	はつり工					
			人	28,356		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S02115	設備機械工					
	設備機械工					
			人	27,438		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S02115	普通作業員					
	普通作業員					
			人	19,380		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S02115	電気通信技術者					
	電気通信技術者					
			人	37,026		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S02115	電気通信技術員					
	電気通信技術員					
			人	24,888		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S02123	穀処分費					
	穀処分費					
	鉄筋		ton	2,000		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S02123	穀処分費					
	穀処分費					
	無筋		ton	2,000		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S02721	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】					
	有筋,なし,人力,昼間施工,		m3	50,970		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S02721	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】					
	無筋,なし,人力,昼間施工,		m3	30,190		歩A・単A
	*** S単ー 12号 ***					
S03020	コンクリートはつり(人力)					
	コンクリートはつり(人力)					
	壁,3<t≤6cm		m ²	6,603		歩A・単A
	*** S単ー 13号 ***					
S03020	コンクリートはつり(人力)					
	コンクリートはつり(人力)					
	床,3<t≤6cm		m ²	6,603		歩A・単A
	*** S単ー 14号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	250,バックホウ(クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり		m	2,940		歩A・単A
	*** S単ー 15号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	300,バックホウ(クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり		m	3,117		歩A・単A
	*** S単ー 16号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工					
	500,バックホウ(クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり		m	4,741		歩A・単A
	*** S単ー 17号 ***					
S07021	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	VP,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所		m	3,393		歩A・単A
	*** S単ー 18号 ***					
S14601	高圧洗浄工					
	高圧洗浄工					
	高圧洗浄工,30Mpa		m ²	1,310		歩A・単A
	*** S単ー 19号 ***					
S18001	土のう工					
	土のう工					
	仕揃え～設置～撤去		m3	28,951		歩A・単A
	*** S単ー 20号 ***					
S18006	排水ポンプ運転(小口径)					
	排水ポンプ運転(小口径)					
	15,作業時排水,0以上～6未満,発動発電機,なし		箇所	96,832		歩A・単A
	*** S単ー 21号 ***					
S18007	排水ポンプ設置撤去(小口径)					
	排水ポンプ設置撤去(小口径)					
	口径 50mm,なし		箇所	18,472		歩A・単A
	*** S単ー 22号 ***					
S18054	敷鉄板設置・撤去工					

事業名	ICTモデル事業					
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事					
工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去,15,1,なし *** S単ー 23号 ***		m ²	569		歩A・単A
S19003	輸送費(仮設材)					
	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,110kmまで,往復計上,計上する(敷鉄板),基地(積込・取卸),,0.0,0.0 *** S単ー 24号 ***		ton	14,000		歩A・単A
SA0102	SP 積込(ルーズ) SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準) *** S単ー 25号 ***		m ³	1,047		歩A・単A
SA0103	SP 床掘り SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-, *** S単ー 26号 ***		m ³	2,006		歩A・単A
SA0221	SP 殻運搬 SP 殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,28.4km以下, *** S単ー 27号 ***		m ³	4,343		歩A・単A
SA0221	SP 殻運搬 SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,23.2km以下, *** S単ー 28号 ***		m ³	3,023		歩A・単A
SA0311	SP コンクリート SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-25(20)(高炉B) W/C65% *** S単ー 29号 ***		m ³	34,550		歩A・単A
SA0311	SP コンクリート SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-25(20)(高炉B) W/C65% *** S単ー 30号 ***		m ³	29,630		歩A・単A
SA0312	SP 型枠 SP 型枠 一般型枠,小型構造物 *** S単ー 31号 ***		m ²	7,611		歩A・単A
SA0312	SP 型枠 SP 型枠 一般型枠,均しコンクリート *** S単ー 32号 ***		m ²	4,270		歩A・単A
SA0551	SP コンクリート分水槽据付 SP コンクリート分水槽据付 据付,80kgを超え200kg以下,無し,あり *** T単ー 1号 ***		基	3,446		歩A・単A
T00001	自動給水機器据付 本体・バッテリー *** T単ー 2号 ***		箇所	7,725		歩A・単A
T00002	水位水温計据付 *** T単ー 3号 ***		箇所	5,528		歩A・単A
T00003	通信中継機据付 *** T単ー 4号 ***		箇所	49,318		歩A・単A
T00006	ゲート監視装置据付(支線分水ゲート設備) 太陽光パネル、バッテリー含む *** T単ー 5号 ***		箇所	80,488		歩A・単A
T00007	水位計据付(支線分水ゲート設備) *** T単ー 6号 ***		箇所	80,488		歩A・単A
T00010	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート) 1000×350 *** T単ー 7号 ***		箇所	96,533		歩A・単A
T00011	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート) 600×350 *** T単ー 8号 ***		箇所	96,533		歩A・単A
T00012	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート) (580×400) *** T単ー 9号 ***		箇所	96,533		歩A・単A
T00013	アルミ製スライドゲート据付(支線分水ゲート) (300×200)		箇所	72,400		歩A・単A

[illegible]

事業名

ICTモデル事業

工事名

大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,まき出し,人力タコ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分 2)作業区分	粘性土・礫質土 埋戻		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)施工区分 4)締固め区分	まき出し 人力タコ		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員					
		1.560	人	19,380	30,233	
	合 計				30,233	算出数量 10,000 m3
	単 価		m3		3,023	
	*** S単－ 2号 ***					
S02111	コンクリートカット[乾式]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	コンクリートカット[乾式] 切削深20cm級 プレート径44～56cm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械器具損料コード 2)機械器具規格	M16475 切削深20cm級 プレート径44～56cm		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	152円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
M16475	コンクリートカット[乾式] 切削深20cm級 プレート径44～56cm		日		152	
	合 計	1,000			152	算出数量 1,000 各単位
	単 価				152	
	*** S単－ 3号 ***					
S02115	はつり工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	はつり工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R02007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R02007	はつり工					
		1,000	人	28,356	28,356	
	合 計				28,356	算出数量 1,000 人
	単 価				28,356	
	*** S単－ 4号 ***					
S02115	設備機械工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	設備機械工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R02019 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R02019	設備機械工					
		1,000	人	27,438	27,438	
	合 計				27,438	算出数量 1,000 人
	単 価				27,438	
	*** S単－ 5号 ***					
S02115	普通作業員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員					
		1,000	人	19,380	19,380	
	合 計				19,380	算出数量 1,000 人

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				19,380	
	*** S単一 6号 ***					
S02115	電気通信技術者		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電気通信技術者			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R03003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R03003	電気通信技術者	1,000	人	37,026	37,026	
	合 計				37,026	算出数量 1,000 人
	単 価				37,026	
	*** S単一 7号 ***					
S02115	電気通信技術員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電気通信技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R03004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R03004	電気通信技術員	1,000	人	24,888	24,888	
	合 計				24,888	算出数量 1,000 人
	単 価				24,888	
	*** S単一 8号 ***					
S02123	穀処分費		ton		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	穀処分費 鉄筋			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格 3) 単価の入力	P96025 鉄筋 0円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
P96025	穀処分費 鉄筋	1,000	ton	2,000	2,000	
	合 計				2,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				2,000	
	*** S単一 9号 ***					
S02123	穀処分費		ton		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	穀処分費 無筋			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格 3) 単価の入力	P96026 無筋 0円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
P96026	穀処分費 無筋	1,000	ton	2,000	2,000	
	合 計				2,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				2,000	
	*** S単一 10号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】 有筋,なし,人力,昼間施工,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 作業区分 2) 時間的制約 3) 施工区分Ⅰ 4) 施工区分Ⅱ	有筋 なし 人力 昼間施工		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A73512	構造物とりこわし工鉄筋構造物 制約無 人力 機労 昼間	1.000	m3	50,970	50,970	
	合 計				50,970	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		50,970	
	*** S単一 11号 ***					
S02721	【構造物取壊し】 【構造物取壊し】 無筋,なし,人力,昼間施工, 1)作業区分 2)時間的制約 3)施工区分Ⅰ 4)施工区分Ⅱ		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
A73502	構造物とりこわし工無筋構造物 制約無 人力 機労 昼間	1.000	m3	30,190	30,190	
	合 計				30,190	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		30,190	
	*** S単一 12号 ***					
S03020	コンクリートはつり(人力) コンクリートはつり(人力) 壁, 3<t≤6cm 1)施工区分 2)施工厚(cm)		m ²		1.000 日	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
		壁		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
		3<t≤6cm		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員	0.800	人	19,380	15,504	
R02007	はつり工	1.300	人	28,356	36,863	
Y00004	諸雑費 16%	0.160		52,367	8,379	
	合 計				60,746	算出数量 9.200 m ²
	単 価		m ²		6,603	
	*** S単一 13号 ***					
S03020	コンクリートはつり(人力) コンクリートはつり(人力) 床, 3<t≤6cm 1)施工区分 2)施工厚(cm)		m ²		1.000 日	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
		床		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
		3<t≤6cm		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01003	普通作業員	0.800	人	19,380	15,504	
R02007	はつり工	1.300	人	28,356	36,863	
Y00004	諸雑費 16%	0.160		52,367	8,379	
	合 計				60,746	算出数量 9.200 m ²
	単 価		m ²		6,603	
	*** S単一 14号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 250,ﾊﾞｯｸﾎﾛ(ｸﾚﾝ機能付) ｸﾚｰﾝ型,受台無し,あり 1)製品規格 2)据付機械 3)受台の有無 4)長期割引単価区分(賃料機械)		m		1.000 日	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
		250 ﾊﾞｯｸﾎﾛ(ｸﾚﾝ機能付) ｸﾚｰﾝ型		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
		受台無し あり		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P13003	鉄筋コンクリートフリーウム 250 260×240×4	13.300	個	0	0	
P13029	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾘｰｳﾑ接合部品 フリーウムタイト 250	13.300	枚	0	0	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	29,274	29,274	

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R01002	特殊作業員	1.000	人	23,460	23,460	
R01003	普通作業員	3.000	人	19,380	58,140	
F08061	バックホウ[クロー型・クレーン・～超低・排対型(～2011)] 標準バック容量 山積0.45m3 (平積0.35m3) 吊能力2.9t	1.430	日	7,160	10,239	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	26,520	26,520	
P34029	軽油 バトロ-給油	55.000	L	149	8,195	
	合 計				155,828	算出数量 53.000 m
	単 価		m		2,940	
	*** S単ー 15号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 300,バックホウ (クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)製品規格 2)据付機械	300 バックホウ (クレーン機能付) クロー型		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)受台の有無 4)長期割引単価区分(賃料機械)	受台無し あり		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P13004	鉄筋コンクリートフリーウム 300 310×275×4	12.500	個	0	0	
P13030	鉄筋コンクリートフリーウム接合部品 フリーウムタイト 300	12.500	枚	0	0	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	29,274	29,274	
R01002	特殊作業員	1.000	人	23,460	23,460	
R01003	普通作業員	3.000	人	19,380	58,140	
F08061	バックホウ[クロー型・クレーン・～超低・排対型(～2011)] 標準バック容量 山積0.45m3 (平積0.35m3) 吊能力2.9t	1.430	日	7,160	10,239	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	26,520	26,520	
P34029	軽油 バトロ-給油	55.000	L	149	8,195	
	合 計				155,828	算出数量 50.000 m
	単 価		m		3,117	
	*** S単ー 16号 ***					
S05001	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリートフリーウム機械据付工 500,バックホウ (クレーン機能付) クロー型,受台無し,あり			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)製品規格 2)据付機械	500 バックホウ (クレーン機能付) クロー型		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)受台の有無 4)長期割引単価区分(賃料機械)	受台無し あり		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P13008	鉄筋コンクリートフリーウム 500 530×425×4	9.800	個	0	0	
P13034	鉄筋コンクリートフリーウム接合部品 フリーウムタイト 500	9.800	枚	0	0	
R01001	土木一般世話役	1.000	人	29,274	29,274	
R01002	特殊作業員	1.000	人	23,460	23,460	
R01003	普通作業員	4.500	人	19,380	87,210	
F08061	バックホウ[クロー型・クレーン・～超低・排対型(～2011)] 標準バック容量 山積0.45m3 (平積0.35m3) 吊能力2.9t	1.430	日	7,160	10,239	
R01021	運転手 (特殊)	1.000	人	26,520	26,520	
P34029	軽油 バトロ-給油	55.000	L	149	8,195	
	合 計				184,898	算出数量 39.000 m
	単 価		m		4,741	
	*** S単ー 17号 ***					
S07021	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VP,150mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)管種区分 2)管径区分(mm)	VP 150mm		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)形状区分 4)管長区分	直管(両差し口) 4.0m管		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	5)接合箇所	0箇所				
P05030	硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径150 長4.0m	2.440	本	9,870	24,083	
Y00004	雑材料費	0.020		24,083	482	
R01001	土木一般世話役	0.090	人	29,274	2,635	
R01002	特殊作業員	0.130	人	23,460	3,050	
R01003	普通作業員	0.190	人	19,380	3,682	
	合 計				33,932	算出数量 10.000 m
	単 価		m		3,393	
	*** S単一 18号 ***					
S14601	高压洗浄工		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	高压洗浄工 高压洗浄工, 30Mpa			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分 2)吐出圧力	高压洗浄工 30Mpa		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	0.710	人	29,274	20,785	
R01002	特殊作業員	1.420	人	23,460	33,313	
R01003	普通作業員	2.130	人	19,380	41,279	
M28413	高压洗浄機[工用用・ガソリンエンジン駆動] 30Mpa	0.870	供用日	6,660	5,794	
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	25.000	L	164	4,100	
Y00004	諸雑費 27%	0.270		95,377	25,752	
	合 計				131,023	算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²		1,310	
	*** S単一 19号 ***					
S18001	土のう工		m ³		10.000 m ³	歩A 当たり算出
	土のう工 仕捨て～設置～撤去			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	仕捨て～設置～撤去		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P37001	土のう 化学繊維使用 62cm×48cm	500.000	枚	17	8,500	
R01003	普通作業員	14.500	人	19,380	281,010	
	合 計				289,510	算出数量 10.000 m ³
	単 価		m ³		28,951	
	*** S単一 20号 ***					
S18006	排水ポンプ運転 (小口径)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ運転 (小口径) 15. 作業時排水, 0以上～6未満, 発動発電機, なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)運転日数 2)排水方法	15 作業時排水		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)排水量(m ³ /h) 4)動力源区分	0以上～6未満 発動発電機		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	5)長期割引単価区分 (賃料機械)	なし				
F02070	発動発電機[G駆動・～低騒音型] 定格容量2kva	16.500	日	918	15,147	
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	144.000	L	164	23,616	

事業名	ICTモデル事業					
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事					
工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R01002	特殊作業員	2.100	人	23,460	49,266	
Y00004	諸雑費	0.100		88,029	8,803	
	合 計				96,832	算出数量 1.000 箇所
	単 価				96,832	
	*** S単ー 21号 ***					
S18007	排水ポンプ設置撤去 (小口径)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	排水ポンプ設置撤去 (小口径) 口径 50mm,なし			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)ポンプ規格 2)長期割引単価区分 (賃料機械)	口径 50mm なし		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
R01001	土木一般世話役	0.300	人	29,274	8,782	
R01003	普通作業員	0.500	人	19,380	9,690	
	合 計				18,472	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		18,472	
	*** S単ー 22号 ***					
S18054	敷鉄板設置・撤去工		m ²		1,000,000 m ²	歩A 当たり算出
	敷鉄板設置・撤去工 設置～賃料～撤去,15,1,なし			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分 2)供用日数	設置～賃料～撤去 15		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)使用回数 4)長期割引単価区分 (賃料機械)	1 なし		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
G03041	敷鉄板 22*1524*6096 〔賃料〕	1,000,000	m ² 供用日	139	139,000	
G03042	敷鉄板 22*1524*6096 〔整備費〕	1,000,000	m ²	118	118,000	
R01002	特殊作業員	2.900	人	23,460	68,034	
R01003	普通作業員	2.900	人	19,380	56,202	
F08063	バックホウ〔クローラ型・クレーン・超低・排対型 (～2014)〕 標準バック容量 山積0.8m3 (平積0.6m3) 吊能力2.9t	3.310	日	18,100	59,911	
P34029	軽油 バックホウ給油	345,000	L	149	51,405	
R01021	運転手 (特殊)	2.900	人	26,520	76,908	
	合 計				569,460	算出数量 1,000,000 m ²
	単 価		m ²		569	
	*** S単ー 23号 ***					
S19003	輸送費 (仮設材)		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	輸送費 (仮設材) 基本運賃 (自動入力), 12m以内, 110kmまで, 往復計上, 計上する (敷鉄板), 基地 (積込・取卸), , 0.0, 0.0			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)使用単価区分 2)運賃料金 (円/ton)	基本運賃 (自動入力) 0円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
	3)製品長 4)運搬距離 (片道)	12m以内 110kmまで				
	5)計上方法 6)積卸し計上区分	往復計上 計上する (敷鉄板)				
	7)積卸し区分 (敷鉄板) 9)冬期割増率 (実数)	基地 (積込・取卸) 0.0				
	10)深夜早朝割増率 (実数)	0.0				
P46611	仮設材輸送運賃料金 110km以下 製品長12m以内	1,000	ton	12,500	12,500	
P46402	積卸し費 積込み・取卸し	1,000	ton	1,500	1,500	
	合 計				14,000	算出数量 1.000 ton
	単 価		ton		14,000	

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 24号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ)		m3		1,000	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)作業内容	土砂 小規模(標準)				
	単 価		m3		1,047	
	*** S単- 25号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1,000	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法	土砂 上記以外(小規模)				
	3)土留方式の種類 4)障害の有無	- -				
	単 価		m3		2,006	
	*** S単- 26号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1,000	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリ(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,28.4km以下,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離	コンクリ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 28.4km以下				
	単 価		m3		4,343	
	*** S単- 27号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1,000	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,23.2km以下,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)DID区間の有無 4)運搬距離	コンクリ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 23.2km以下				
	単 価		m3		3,023	
	*** S単- 28号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-25(20			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	) (高炉B) W/C65%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)構造物種別 2)打設工法 3)コンクリートの計上 4)設計日打設量	小型構造物 人力打設 計上する -				

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)養生工の種類	一般養生				
	6)圧送管延長距離区分	-				
	7)現場内小運搬の有無	無し				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	18-8-25(20)(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		34,550	
	*** S単ー 29号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,,18-8-			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	25(20)(高炉B) W/C65%			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)構造物種別	無筋・鉄筋構造物				
	2)打設工法	人力打設				
	3)コンクリートの計上	計上する				
	4)設計日打設量	-				
	5)養生工の種類	一般養生				
	6)圧送管延長距離区分	-				
	7)現場内小運搬の有無	無し				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	18-8-25(20)(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3		29,630	
	*** S単ー 30号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般型枠,小型構造物			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	小型構造物				
	単 価		m ²		7,611	
	*** S単ー 31号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1,000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	一般型枠,均しコンクリート			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	均しコンクリート				
	単 価		m ²		4,270	
	*** S単ー 32号 ***					
SA0551	SP コンクリート分水槽据付		基		1,000 基	歩A 当たり算出
	SP コンクリート分水槽据付			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	据付,80kgを超え200kg以下,無し,あり			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)作業区分	据付				
	2)製品質量(kg/基)	80kgを超え200kg以下				
	3)基礎碎石の有無	無し				
	4)長期割引単価区分	あり				
	単 価		基		3,446	

[illegible]

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単- 1号 ***					
T00001	自動給水機器据付		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	本体・バッテリー					
S02115	設備機械工	0.150	人	27,438	4,116	S単 4号
S02115	普通作業員	0.150	人	19,380	2,907	S単 5号
Y00004	雑品	0.100		7,023	702	
	合 計				7,725	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		7,725	
	*** T単- 2号 ***					
T00002	水位水温計据付		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
S02115	設備機械工	0.050	人	27,438	1,372	S単 4号
S02115	普通作業員	0.100	人	19,380	1,938	S単 5号
Y00004	雑品	0.670		3,310	2,218	
	合 計				5,528	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		5,528	
	*** T単- 3号 ***					
T00003	通信中継機据付		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
S02115	設備機械工	0.500	人	27,438	13,719	S単 4号
S02115	普通作業員	1.000	人	19,380	19,380	S単 5号
Y00004	雑品	0.490		33,099	16,219	
	合 計				49,318	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		49,318	
	*** T単- 4号 ***					
T00006	ゲート監視装置据付(支線分水ゲート設備)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	太陽光パネル、バッテリー含む					
S02115	電気通信技術者	1.000	人	37,026	37,026	S単 6号
S02115	電気通信技術員	1.000	人	24,888	24,888	S単 7号
Y00004	雑品	0.300		61,914	18,574	
	合 計				80,488	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		80,488	
	*** T単- 5号 ***					
T00007	水位計据付(支線分水ゲート設備)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
S02115	電気通信技術者	1.000	人	37,026	37,026	S単 6号
S02115	電気通信技術員	1.000	人	24,888	24,888	S単 7号
Y00004	雑品	0.300		61,914	18,574	
	合 計				80,488	算出数量 1.000 箇所

事業名	ICTモデル事業
工事名	大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

工事別工事名:大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		箇所		80,488	
	*** T単ー 6号 ***					
T00010	アルミ製スライドゲート据付 (支線分水ゲート)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	1000×350					
S02115	設備機械工	2.000	人	27,438	54,876	S単 4号
S02115	普通作業員	1.000	人	19,380	19,380	S単 5号
Y00004	雑品	0.300		74,256	22,277	
	合 計				96,533	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		96,533	
	*** T単ー 7号 ***					
T00011	アルミ製スライドゲート据付 (支線分水ゲート)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	600×350					
S02115	設備機械工	2.000	人	27,438	54,876	S単 4号
S02115	普通作業員	1.000	人	19,380	19,380	S単 5号
Y00004	雑品	0.300		74,256	22,277	
	合 計				96,533	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		96,533	
	*** T単ー 8号 ***					
T00012	アルミ製スライドゲート据付 (支線分水ゲート)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	(580×400)					
S02115	設備機械工	2.000	人	27,438	54,876	S単 4号
S02115	普通作業員	1.000	人	19,380	19,380	S単 5号
Y00004	雑品	0.300		74,256	22,277	
	合 計				96,533	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		96,533	
	*** T単ー 9号 ***					
T00013	アルミ製スライドゲート据付 (支線分水ゲート)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	(300×200)					
S02115	設備機械工	1.500	人	27,438	41,157	S単 4号
S02115	普通作業員	0.750	人	19,380	14,535	S単 5号
Y00004	雑品	0.300		55,692	16,708	
	合 計				72,400	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		72,400	
	*** T単ー 10号 ***					
T00014	アルミ製スライドゲート据付 (自動給水ゲート)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	角落し仕様					
S02115	設備機械工	0.100	人	27,438	2,744	S単 4号
S02115	普通作業員	0.075	人	19,380	1,454	S単 5号

[illegible]

令和5年度ICTモデル事業
大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事

特別仕様書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和5年度ICTモデル事業大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）に基づいて実施する。

なお、共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、ICT技術の活用による自動制御・遠隔監視、無効放流の削減、水管理労力の削減のための大野川上流地区ICT整備構想に基づき、大野川上流地区内の荻柏原支線用水路内及び分水路内において関係施設の整備を行うものである。

2. 工事場所

大分県竹田市荻町地内

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

支線水路分岐部ゲート整備	5 箇所
分水内水路・付帯工整備	1 式
内訳 二次製品水路（BF250、BF300、BF500）	L = 43.00m
現場打水路（300×400）	7 箇所
二次製品柵（400×400）	18 箇所
自動給水ゲート整備（150×150）	73 箇所
通信中継機整備	2 箇所

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

第3章 施工条件

1. 部分引き渡し

支線水路分岐部ゲート整備箇所については、管理・防火用水を通水させる目的から、現地施工着手日（仮締切開始日）から概ね30日後までに施工を完了した上で部分引渡しを行わなければならない。

2. 工事期間中の休業

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等33日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇を含んでいる。

3. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、祝・祭日、年末年始休暇（12月29日～1月3日）。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施を取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、冬期間の気象条件等により上記の工事を施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 施工しない時間帯

原則、平日の午後6時から午前8時まで。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第4章 現場条件

1. 土質

本工事の施工場所の土質は、砂質土を想定している。

2. 関連工事

本工事に関連する工事として次に示す工事を予定しているので、監督職員及び関連する工事の責任者と十分連絡、協議し工事工程に支障が生じないように調整しなければならない。

令和6年度ICTモデル事業大野川上流地区政所支線水管理省力化対策施設整備工事
(施工予定時期 令和6年10月～令和7年3月)

3. 第三者に対する措置

本工事は、民地内等において地元土地改良区及び関係農家が所有する農業用水路及び周辺の整備を行う工事が主体であることから、このような箇所の施工に当たっては、土地改良区や関係農家の苦情等が工事中や工事後においても生じることのないよう、既設水路や法面、畦畔、圃場面等の現況施設を傷めないように十分配慮して工事を行うものとする。

4. 関連機関との調整

受注者は、支線水路の断水期間において、荻柏原土地改良区から、緊急時の通水要請等があった場合には必要な対応を行わなければならない。

第5章 指定仮設

1. 工事用道路等

受注者は、図面に基づき仮設進入路を整備しなければならない。また、工事期間中の補修、維持管理及び工事完了後の撤去は、受注者の責任において実施しなければならない。

2. 水替工

工事現場内における排水量は、次のとおり想定している。

政所支線・馬場支線分岐部： $Q_{\max}=0.1\text{m}^3/\text{h}$

第6章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

(1) 支線水路分岐部ゲート整備

支線水路分岐部ゲート整備の工事施行に必要な用地は、水路内及び水路敷を使用するものとする。また、政所支線・馬場支線分岐部への仮設進入路用地は、発注者により別添図面の範囲を確保している。

(2) 分水内水路・付帯工整備

分水内水路・付帯工整備の工事施行に必要な用地は、施工箇所直近の畦畔・圃場面を使用するものとする。

第7章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第8章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は、次のとおりである。

(1) コンクリート

コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種類	呼び強度 (N/mm ²)	スラン° (cm)	粗骨材 の最大 寸法 (mm)	水セメント 比 (W/C) (%)	セメントの 種類に よる 記号	使用目的
無筋コン クリート	18	8	25	60 以 下	BB	一般構造物 均しコンクリート

※粗骨材最大寸法 25 mmは、地域的に骨材の入手が困難な場合 20 mmの使用を可能とする。

(2) コンクリート二次製品

BF250 型、BF300 型、BF500 型： JISA5372

(3) 硬質ポリ塩化ビニル管

直管 (VP φ 150) JISK6741

異形管 (VP φ 150) JISK6743

(4) 支線分岐部ゲート資材

名 称	規 格
アルミ製スライドゲート (1000×350)	径間 1.00m×有効高 0.35m、3 方ゴム水密 扉体材質：AL PL10
アルミ製スライドゲート (600×350)	径間 0.60m×有効高 0.35m、3 方ゴム水密 扉体材質：AL PL10
アルミ製スライドゲート (580×400)	径間 0.58m×有効高 0.40m、3 方ゴム水密 扉体材質：AL PL10
アルミ製スライドゲート (300×200)	径間 0.30m×有効高 0.20m、4 方ゴム水密 扉体材質：AL PL10

(5) 支線分岐部ゲート電気設備資材

名 称	規 格
開閉装置	電動シリンダー方式、開閉荷重 1.5kN(1 本吊り)
ゲート監視制御装置	対候性樹脂製ボックス構造 (W350×H450×D200 mm 程度、太陽光パネル (5W 以上) 外装、バッテリー (12V5Ah) 内装) 盤面機器：名称銘板 1 式 盤内機器：制御コントローラー 1 台、手動操作ス イッチ 1 式、制御リレー 1 式、端子台 1 式 ※構造は、開閉装置との接合が可能な構造又はア タッチメント付でバッテリー内蔵 (交換可能) 型 とする。また、水位計との接続可能なものとす る。 ※操作は、スマートフォンによる遠隔操作、クラ ウド制御システムによるプログラム操作 (日別設 定可能、別途開発)、水位計連動運転、機側操作 が可能なものとする。
水位計	構造：投込み圧力式水位計、材質：本体 SUS316 相 当、測定水位：0-0.8m 程度、出力：2 線式 4- 20mA、総合精度：0.5%程度、付属品：専用中空ケ ーブル 5m程度 (ゲート監視制御装置と接続)

(6) 自動給水ゲート資材

名 称	規 格
給水ゲート 角落し仕様	有効高 150mm、有効幅 150mm 扉体材質：AL PL8 4方水密
給水ゲート アンカー固定仕様	有効高 150mm、有効幅 150mm 扉体材質：AL PL8 4方水密
給水ゲート 柵仕様	有効高 150mm、有効幅 150mm 扉体材質：AL PL8 4方水密

(7) 自動給水ゲート電気設備資材

名 称	規 格
自動給水機器(本体+バッテリー)	通信機器・電動アクチュエーター・操作パネル・ソーラーパネル一体型 通信方式：通信集約型 ※構造は、自動給水ゲートとの接合が可能な構造又はアタッチメント付でバッテリー内蔵（交換可能）型とする。また、水位水温計との接続可能なものとする。 ※操作は、スマートフォンによる遠隔操作、タイマー操作（日別設定可能）、クラウド制御システムによるプログラム操作（別途開発）、水位計連動運転、機側操作が可能なものとする。
水位、水温計	構造：静電容量式水位計、測定水位：-0.05m～0.25m、測定温度：0℃～40℃、付属品：専用中空ケーブル 3m程度（自動給水機器と接続）

(8) 自動給水ゲート取付水路関係資材

名 称	規 格
深型水路 BF250 型	大分県標準規格 ベンチフリューム分水溝溜底
深型水路 BF300 型	大分県標準規格 ベンチフリューム分水溝溜底
深型水路 BF500 型	大分県標準規格 ベンチフリューム分水溝溜底
集水柵	630×630×810 底版付

(9) 通信中継設備関係資材

名 称	規 格
通信中継機(ソーラー電源仕様)	自動給水ゲートを最大 80 台制御 電源：ソーラーパネル 通信ボックス IPX5(JIS C 0920)相当 通信ボックス IP67(JIS C 0920)相当
ソーラーパネルユニット	通信中継器に適合する規格

2. 見本又は資料提出

- (1) 主要材料及び次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出して承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

材 料 名	提 出 物
石材及び骨材	試験成績書、粒度分布表
硬質ポリ塩化ビニル管	カタログ等
コンクリート二次製品	カタログ又は試験成績書等
ゲート、自動化・通信資材	カタログ等

(2) 監督職員の検査又は試験

次に示す工事材料は、使用前に監督職員の検査又は試験を受けなければならない。

材料名	検査・試験項目	備考
管 材	寸法・外観	抽 出
コンクリート二次製品	寸法・外観	抽 出
そ の 他 主 要 材 料	現場搬入時外観寸法検査	抽 出

第9章 施工

1. 一般事項

(1) 水準点等

本工事は、既設水路の局所整備を行うものであるため水準点等を設けていないが、図面に示す既設構造物の位置、高さ、寸法等の現地条件に合わせて施工を行う必要から、工事実施前に寸法等を計測して監督職員に実施寸法を確認した上で施工することとし、工事完了後に水路としての流水等の施設機能を損なうことのないようにしなければならない。

(2) 検測又は確認（施工段階確認）

- 1) 本工事は、施工段階確認は、下表に示すとおりである。ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。
- 2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

工 種	確認内容	確認時期・頻度 (一般監督)	確認時期・頻度 (重点監督)	備考
開水路ゲート・ 自動給水ゲート	扉体の全幅、水 密幅	出来形管理	現地据付時	同種の初回
電動設備・遠隔 自動操作設備	据付状態、外観 状態	出来形管理	現地据付時	同種の初回

2. 建設資材廃棄物等の搬出

本工事は、施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材 廃 棄 物	処 理 施設名	住所	受け入れ 時 間	事業区分
コンクリート塊 (無筋)	友岡組	大分県豊後大野市 大野町大原 1172-2	8 時～17 時	再資源化施設業者
コンクリート塊 (有筋)	(有)竹田産業 廃棄物環境	大分県竹田市大字 枝 1893	8 時～17 時	再資源化施設業者

3. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (構造物撤去)	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

4. 土工

(1) 掘削

- ① 掘削土は、全て埋戻し材として流用することとしている。
- ② 掘削に当たっては、法面の崩落に十分注意して施工しなければならない。
- ③ 法面の崩落により他の施設に重大な影響が発生又は、そのおそれが認められる場合は、速やかに監督職員と協議しなければならない。

(2) 埋戻し

埋戻し材は一層の仕上り厚さが30cm程度になるようにまき出して締め固めなければならない。

5. 分水内水路整備

二次製品水路・柵等の布設は現況勾配・断面に掘削し、十分な基盤面仕上げの後に布設するものとする。

6. 既設水路撤去

工事に伴い撤去する水路・既設管・水口ゲート等の既設物については、極力破損のないよう丁寧に撤去を行い、工事箇所脇の監督職員が指定する位置に存置するものとする。

7. 通信中継設備設置

通信中継局の設置において、単管パイプは所定の根入れを確保し、基礎及び関係機器との固定を強固なものとしなければならない。

第10章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者等の資格は、入札説明書によるものとする。

2. 施工管理

受注者は、現地施工完了後に発注者が行う通水試験・自動ゲート試運転調整に立会うものとする。なお、通水試験・自動ゲート試運転調整において受注者の責任に起因する異常が認められた場合は、受注者の責任において処理するものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第２ 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- １）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- ２）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- １）受注者は、（１）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- ２）本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第２ 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記１）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）６ 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- ３）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL（https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

５．工事現場等における遠隔確認について

- （１）本工事は、施工段階確認、材料検査、立会等による確認を受注者がウェアラブルカメラ等により撮影した映像と音声を監督職員等に同時配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニター上で工事現場等の確認（以下「遠隔確認」という）を行う工事である。
- （２）遠隔確認の活用は、別添の「工事現場等における遠隔確認に関する試行要領」によるものとする。
- （３）受注者は、本工事において施工状況を確認するためにウェアラブルカメラ等による撮影を行っていることを施工現場に掲示して周辺住民等の理解につとめなければならない。
- （４）受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、これに協力しなければならない。
- （５）本試行にかかる費用は一括計上価格に計上する。

第１１章 天災その他不可抗力

天災その他の不可抗力による損害は、工事請負契約書第 30 条によるものとする。

第 1 2 章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に表示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

1. 土 質
2. 転石の出現
3. 排水量
4. 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現
5. その他

第 1 3 章 その他

1. 契約後 V E 提案

(1) 定 義

「VE 提案」とは、工事請負契約書第 19 条の 2 の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) VE 提案の意義及び範囲

- ① VE 提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- ② ただし、次の提案は、VE 提案の範囲に含めないものとする。
 - (ア) 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - (イ) 工事請負契約書第 18 条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案
 - (ウ) 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) VE 提案書の提出

- ① 受注者は、(2) の VE 提案を行う場合、次に掲げる事項を VE 提案書（共通仕様書様式 6－1～（4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - (ア) 設計図書に定める内容と VE 提案の内容の対比及び提案理由
 - (イ) VE 提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - (ウ) VE 提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - (エ) 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - (オ) 工業所有権を含む VE 提案である場合、その取り扱いに関する事項
 - (カ) その他 VE 提案が採用された場合に留意すべき事項
- ② 発注者は、提出された VE 提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- ③ 受注者は、VE 提案を契約締結の日より、当該 VE 提案に係る部分の施工に着手する日の 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。
- ④ VE 提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) VE 提案の適否等

- ① 発注者は、VE 提案の採否について、原則として、VE 提案を受領した日の翌日から 14 日以内に書面（共通仕様書 様式 6－5）により通知するものとする。ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする。
- ② また、VE 提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- ③ VE 提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- ④ 発注者は、VE 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 19 条の 2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。
- ⑤ 発注者は、VE 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- ⑥ 前項の変更を行う場合においては、VE 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の

10分の5に相当する額（以下、「VE管理費」という。）を削減しないものとする。

⑦ VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。

⑧ 発注者は、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）第1項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記⑥のVE管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

（5）VE提案書の使用

発注者は、VE提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

（6）責任の所在

発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

2. 入札後契約前 VE 提案

工事請負契約書第18条の条件変更が生じた場合においても、入札後契約前 VE 管理費については原則として変更はしないものとする。ただし、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者の協議により定めるものとする。

3. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書第1編1-1-37に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R）正副2部

4. 配置予定監理技術者等の専任期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

また、現場への専任の期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「合格通知書」における日付）とする。

5. ワンデーレスポンス実施に関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

なお、「その日のうち」とは午前に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後に協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。ただし、原則として閉庁日を除く。

6. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省WEBサイト）を十分に理解のう

え、対応するものとする。

(1) 工事円滑化会議（施工条件確認会議）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。なお、開催日程、出席者、課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(2) 工事円滑化会議（工程確認会議）

工事着手時および新工種発生時等、受発注者間において、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が、現場条件、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督員の協議により定めるものとする。

(3) 設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督員と協議し定めるものとする。

(4) 対策検討会議

工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに各地方農政局地方参事官（議長）・関係課職員、事務所長、次長、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

(5) 建設コンサルタントの出席

上記(1)、(2)、(3)及び(4)の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数に関わらず変更契約の対象としない。

(6) 工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書 様式-42）に記録し、相互に確認するものとする。

7. 現場環境の改善の試行

本工事は、だれでも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア 様式（洋風）便器
- イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ 臭い逆流防止機能
- エ 容易に開かない施錠機能
- オ 照明設備
- カ 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス

- コ 鍵と手洗器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法900×900mm 以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）

（2）快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記（1）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事（施工箇所）までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事（施工箇所）より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

（3）快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本項の対象外とする。

8. 週休 2 日による施工

（1）本工事は、週休 2 日を実施した場合に対象期間中の現場閉所状況に応じて労 務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正し設計変更を行う試行対象工事である。受注者は、週休 2 日を実施する希望がある場合、契約後、工事着手前日までに週休 2 日の実施計画書を監督職員へ提出し、本試行を適用することができる。

（2）「週休 2 日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4 週 8 休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上の水準に達する状態をいう。なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

① 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として 12 月 29 日から 1 月 3 日までの 6 日間、8 月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間※注のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

（注）余裕期間については、余裕期間設定工事の場合に記載する。

② 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1 日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。

③ 降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

（3）週休 2 日（4 週 8 休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。

① 受注者は、週休 2 日の実施を希望する場合、契約後、工事着手前日までに週休 2 日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。

② 受注者は、週休 2 日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休 2 日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。

③ 監督職員は、上記受注者からの報告により週休 2 日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。

④ 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記②の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。

⑤ 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。

（4）監督職員が週休 2 日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合に

は、受注者は協力するものとする。

- (5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正し設計変更を行うものとする。

①補正係数

	4週8休以上 〔現場閉所率 28.5%（8日/28日）以上〕
労務費	1.02
機械経費（賃料）	1.02
共通仮設費（率分）	1.02
現場管理費（率分）	1.05

②補正方法

当初積算において4週8休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。また、発注者は工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、工事請負契約書第 25 条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記①に示す補正係数による補正を行わずに減額変更する。なお、工事着手前に週休2日に取り組むことについて監督職員へ報告しなかったもの（受注者が週休2日の取組を希望しないものを含む）については、当初積算の補正分を全て減ずるものとする。

- (6) 週休2日の確保に取り組む工事において、市場単価方式・土木工事標準単価による積算に当たっては、現場閉所状況に応じて、以下のとおり補正する。

名称	区分	補正係数
		4週8休以上
排水構造物工	人力	1.02
構造物とりこわし工		1.02

9. 週休2日制の促進

- (1) 本工事は、週休2日制を促進するため、現場閉所状況に応じて「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）に基づく工事成績評定において加点評価を行うとともに、週休2日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。
- (2) 発注者は、現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）と確認した場合は、工事成績評定において加点評価するものとする。ただし、工事成績評定に基づく工事成績の合計は100点を超えないものとする。なお、加点評価に当たっては、以下のとおりとする。

- ① 他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙5に示す「4. 創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大2点を加点評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて1点、2点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- ☐ 週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
- ☐ 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

- ② 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙3-1に示す「2. 施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の2つの評価項目を追加し、両方で加点評価する。ただし、週休2日に満たない（休日率4週6休以上）場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- ☐ 休日の確保を行った。
☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行った。〕

○事業（務）所長用

- ☐ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。〕

- ③ 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成したことに加え、対象期間内の全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙8に示す「7. 法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で1点を加点評価する。

○事業（務）所長

- ☐ その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行ったとともに全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。〕

- (3) 監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が4週8休以上（現場閉所率28.5%（8日/28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

10. 現場環境改善費

- (1) 現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。
- (3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を督監職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労働宿舍の快適化 ③デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報器等） ③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む） ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表 ⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧パンフレット・工法説明ビデオ ⑨社会貢献

1 1. 地域外からの労務者確保に要する間接工事費の設計変更

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事施工にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
- 営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- (2) 発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3) 受注者は、契約締結後、2）により発注者から示された割合を参考にして、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する実施計画書（以下「様式1」という。）を作成し、監督職員に提出するものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書（以下「様式2」という。）を作成するとともに、様式2に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「積算基準に基づき算出した額」から「様式1に記載された共通仮設費（率分）と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「(4)で受注者から提出された証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

1 2. 1日未満で完了する作業の積算

- (1) 本工事における1日未満で完了する作業の積算（以下、「1日未満積算基準」という。）は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について、協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種等の作業と組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当たって、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料（見積書、契約書、請求書等）により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
- (5) 災害復旧工事等で人工精算する場合や、「時間的制約を受ける工事の積算方法」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。

1 3. 共通仮設費率分の適切な設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
- 運搬費：建設機械の運搬費
準備費：伐開・除根・除草費
- (2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。

- (3) 受注者は、(2) により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事共通仮設費算定基準に基づき算出した額」から「内訳書に記載された共通仮設費（率分）の合計額」を差し引いた後、「(4) の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

1 4. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、別記別紙様式 1 により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている 120 日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに別記様式 1 と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結の日から令和 7 年 3 月 10 日（工事完了期限日）まで

1 5. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

1 6. 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第 1 4 章 定めなき事項

この仕様書に定めない事項又は本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接工事費（仮設工を除く）				
1. 支線水路分岐部ゲート設置工				
（1）政所支線・馬場支線分岐部				
既設コンクリート切断	t=50mm	m	10.500	
既設コンクリートはつり（人力）	t=50mm, 壁	m ²	0.200	
既設コンクリートはつり（人力）	t=50mm, 床	m ²	0.100	
既設コンクリート高圧洗浄工	施工前	m ²	4.800	
支線水路分岐部ゲート（政所支線）	アルミ製電動スライドゲート（1000×350）, 開閉装置	箇所	1.000	
支線水路分岐部ゲート（馬場支線）	アルミ製電動スライドゲート（600×350）, 開閉装置	箇所	1.000	
ゲート監視制御装置（政所支線）	（1000×350）	箇所	1.000	
ゲート監視制御装置（馬場支線）	（600×350）	箇所	1.000	
水位計		箇所	2.000	
（2）政所支線・一幹末支線分岐部				
既設コンクリート切断	t=50mm	m	7.700	
既設コンクリートはつり（人力）	t=50mm, 壁	m ²	0.200	
既設コンクリートはつり（人力）	t=50mm, 床	m ²	0.200	
既設コンクリート高圧洗浄工	施工前	m ²	3.500	
支線水路分岐部ゲート（政所支線）	アルミ製スライドゲート（580×400）, 開閉装置	箇所	1.000	
支線水路分岐部ゲート（一幹末支線）	アルミ製スライドゲート（580×400）, 開閉装置	箇所	1.000	
ゲート監視制御装置（政所支線）	（580×400）	箇所	1.000	
ゲート監視制御装置（一幹末支線）	（580×400）	箇所	1.000	
水位計		箇所	2.000	
（3）馬場支線4号分水工				
既設コンクリート切断	t=50mm	m	3.700	
既設コンクリートはつり（人力）	t=50mm, 壁	m ²	0.090	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
既設コンクリートはつり(人力)	t=50mm, 床	m ²	0.030	
4号分水ゲート	アルミ製スライドゲート (300×200), 開閉装置	箇所	1.000	
ゲート監視制御装置	(300×200)	箇所	1.000	
水位計		箇所	1.000	
2. 自動給水ゲート設置工				
(1) 作業土工 (自動給水ゲート周辺部)				
床掘	土砂	式	1	
埋戻し	流用土	式	1	
(2) 作業土工 (給水管部)				
床掘	土砂	式	1	
埋戻し	流用土	式	1	
(3) 既設構造物取壊し工				
構造物取壊し	コンクリート, 有筋	m ³	3.400	
構造物取壊し	コンクリート, 無筋	m ³	0.700	
殻運搬	コンクリート, 有筋	m ³	3.400	
殻運搬	コンクリート, 無筋	m ³	0.700	
殻処分	コンクリート, 有筋	ton	8.500	
殻処分	コンクリート, 無筋	ton	1.600	
(4) コンクリート工	現場打水路・均しコンクリート			
コンクリート工	18-8-25(20) (高炉B)	m ³	5.700	
型枠 (構造物)		式	1	
均しコンクリート	18 - 8 - 20	m ³	0.600	
型枠 (均しコンクリート)		m ²	3.600	
(5) 自動給水ゲート取付水路等				
水路工	A-BF250型	m	21.000	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
水路工	A-BF300型	m	17.000	
水路工	A-BF500型	m	5.000	
柵工	B-二次製品柵型	箇所	18.000	
(6)給水管整備工				
硬質ポリ塩化ビニル管	VP φ 150mm	m	23.700	
硬質ポリ塩化ビニル管継手材	VP φ 150mm 22° 1/2 ベント	箇所	31.000	
(7)自動給水ゲート設置工				
給水ゲート 角落し仕様	アルミ製スライドゲート (150×150)	箇所	46.000	
給水ゲート アンカー固定仕様	アルミ製スライドゲート (150×150)	箇所	9.000	
給水ゲート 柵仕様	アルミ製スライドゲート (150×150)	箇所	18.000	
(8)自動給水機器設置工				
自動給水機器	通信機器, 電動アクチュエータ, 操作パネル, ソーラー	箇所	73.000	
水位・水温計	- 0.05m~0.25m, 0° ~ 40℃	箇所	73.000	
(9)通信中継機設置工				
通信中継機	ソーラーパネル電源仕様	箇所	2.000	
直接工事費 (仮設工)				
1. 支線水路分岐部ゲート設置工				
(1)政所支線・馬場支線分岐部				
仮設進入路敷鉄板設置・撤去	t=22mm	m ²	216.000	
仮締切土のう工	現地発生土使用	m ³	1.000	
排水ポンプ(仮設)	作業時排水, 口径 50mm, 設置撤去含む	箇所	1.000	
2. その他				
(1)運搬費				
運搬費				
運搬費				

工 事 数 量 表

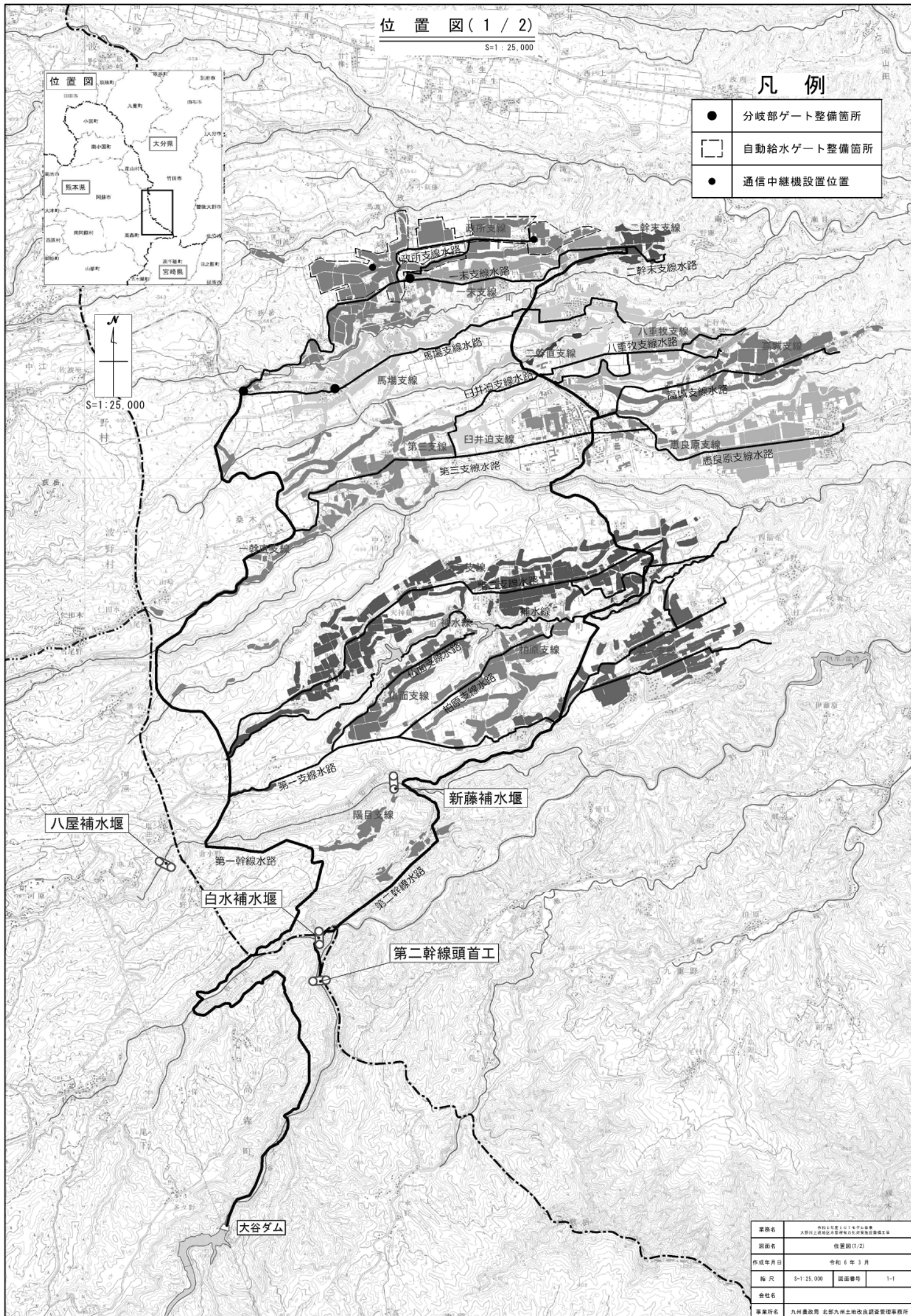
工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
仮設材輸送	敷鉄板, t=22mm	ton	38.400	

令和５年度ＩＣＴモデル事業
大野川上流地区水管理省力化対策施設整備工事
図面目録

番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	2	
2	政所支線・馬場支線分岐部ゲート計画図	3	
3	政所支線・馬場支線分岐部ゲート仮設計画図	1	
4	政所支線・一幹末支線分岐部ゲート計画図	3	
5	馬場支線４号分水工ゲート計画図	2	
6	自動給水ゲート設置計画平面図	1	
7	①型：自動給水ゲート A-BF250型 標準図	2	
8	②型：自動給水ゲート A-BF300型 標準図	2	
9	③型：自動給水ゲート A-BF500型 標準図	2	
10	④型：自動給水ゲート B-二次製品樹型 標準図	2	
11	⑤型：自動給水ゲート B-現場打型 標準図	2	
12	⑥型：既設直付型 標準図	2	
13	通信中継器構造図	1	
	合 計	25	

S=1 : 25,000

●	分岐部ゲート整備箇所
□	自動給水ゲート整備箇所
●	通信中継機設置位置

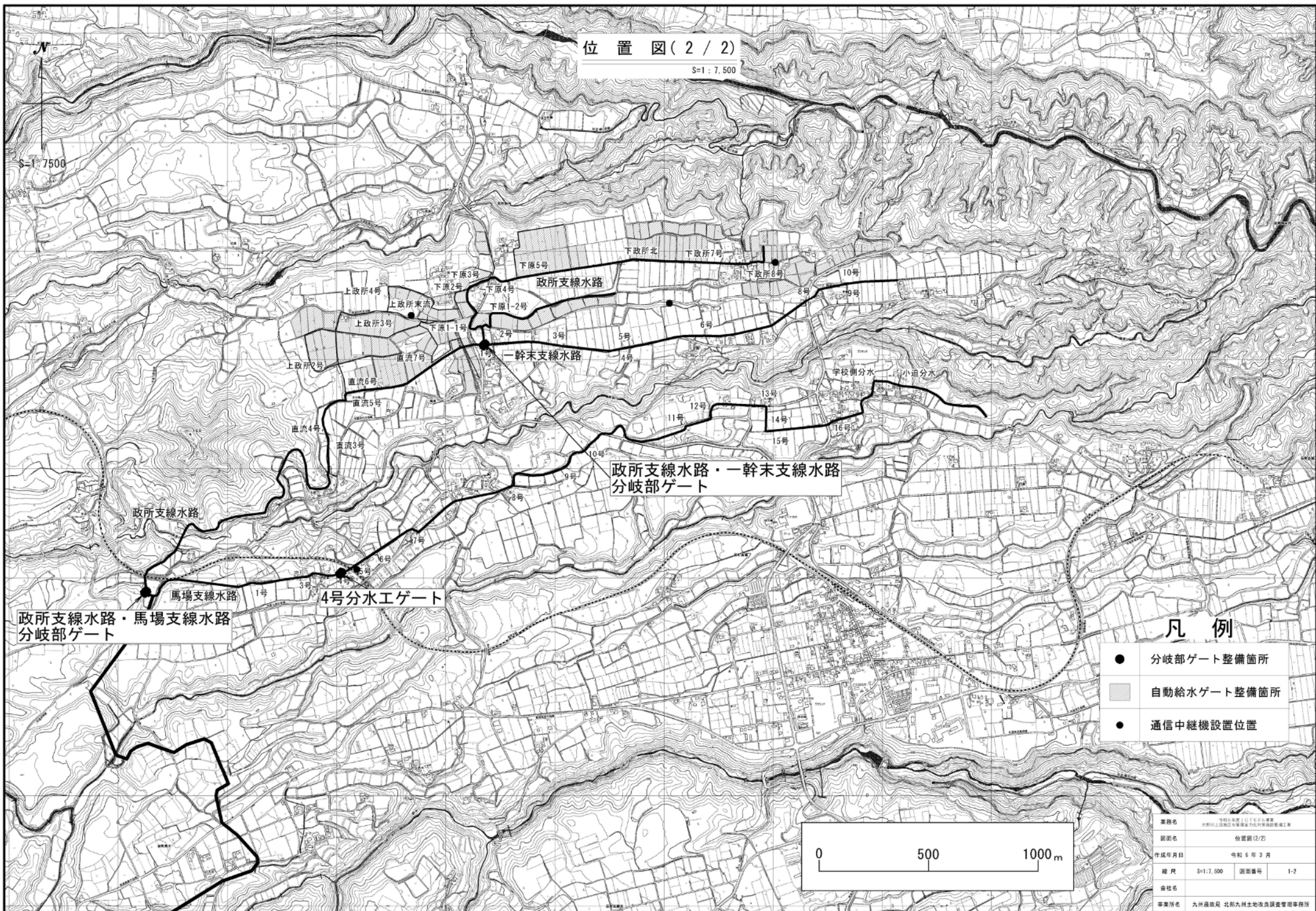


業務名	香川県農業・農村整備事業 大野川上流地区水質改善及び対策施設整備工事		
図面名	位置図 (1/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮尺	5-1:25,000	図面番号	1-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

位置図(2/2)

S=1:7,500

S=1:7,500



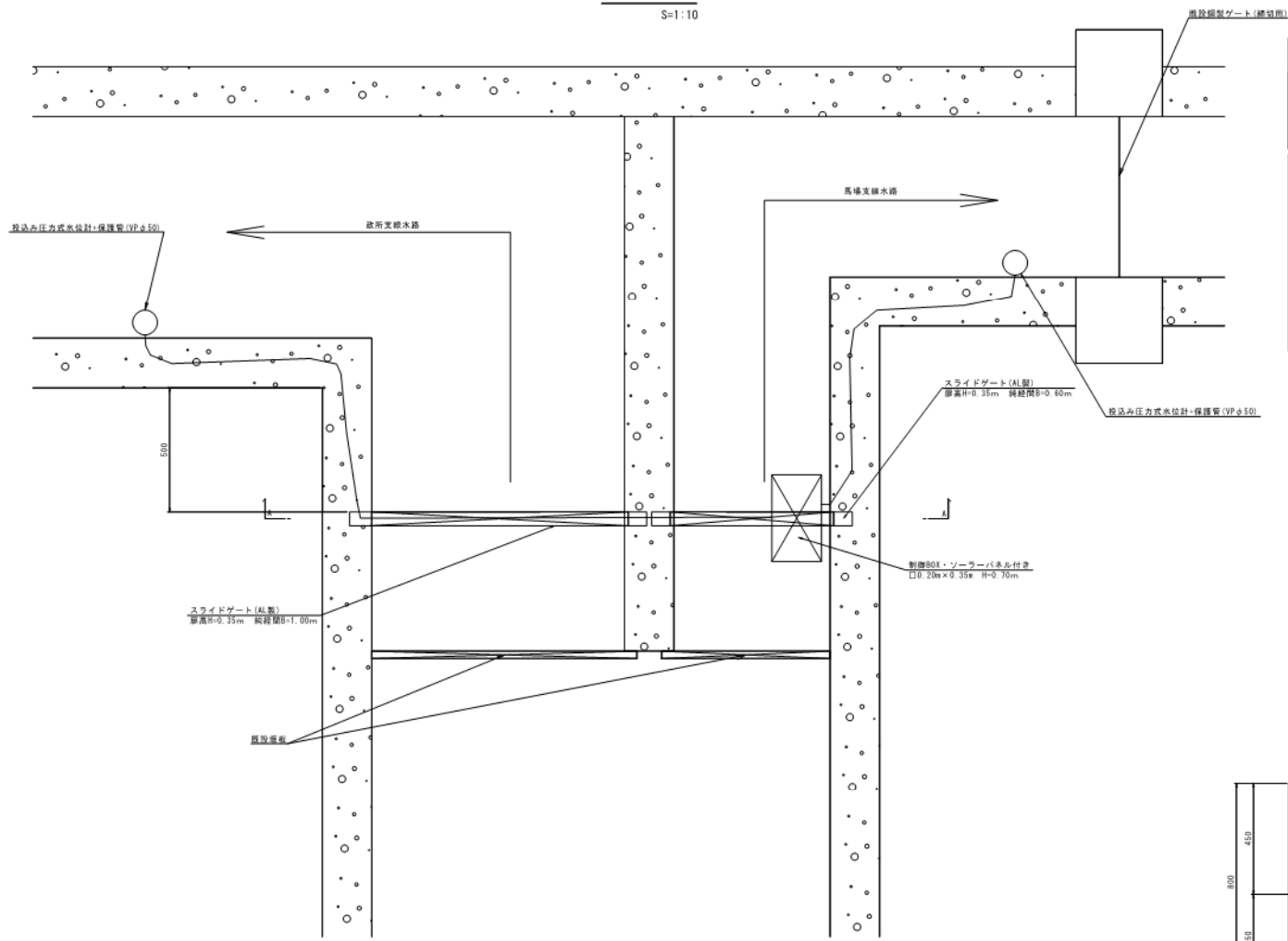
凡例

- 分岐部ゲート整備箇所
- 自動給水ゲート整備箇所
- 通信中継機設置位置

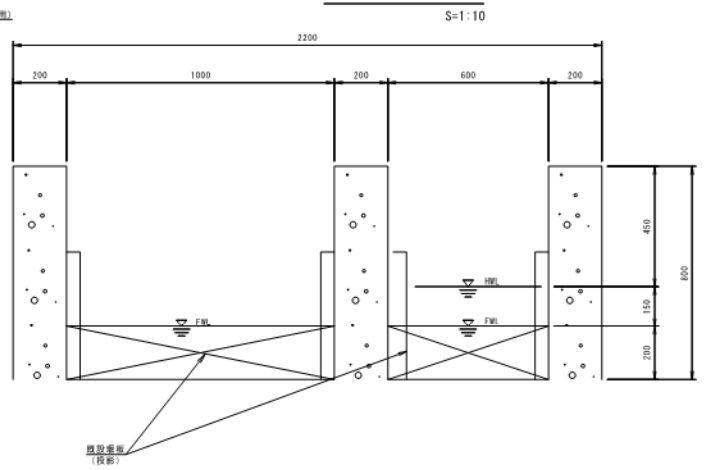
業務名	大野川上流地区水管理強化計画事業		
図面名	位置図(2/2)		
作成年月日	令和6年3月		
縮尺	S=1:7,500	図面番号	1-2
会社名	九州建設局 北九州土地改良課管理事務所		
事業所名	九州建設局 北九州土地改良課管理事務所		

政所支線・馬場支線分岐部ゲート計画図(1/3)

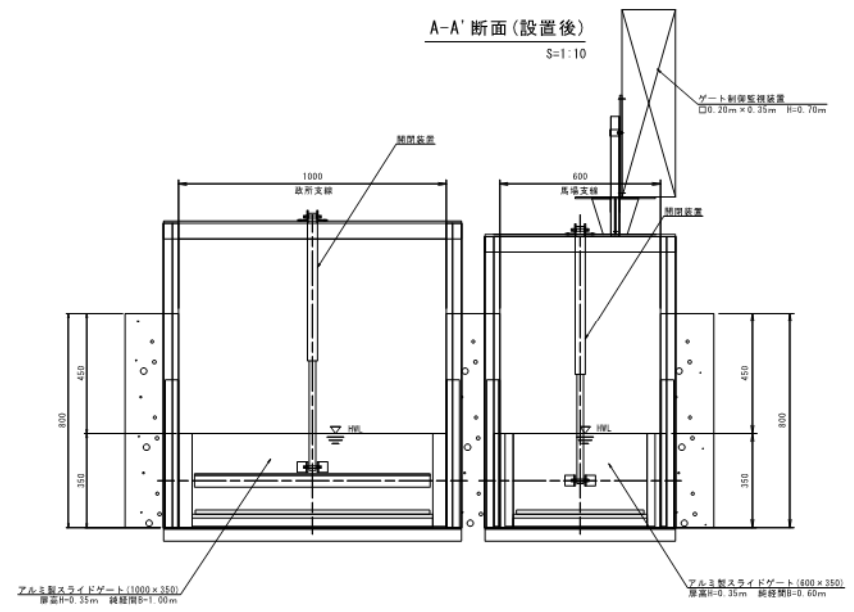
計画平面図
S=1:10



A-A' 断面 (設置前)
S=1:10



A-A' 断面 (設置後)
S=1:10



アルミ製スライドゲート (1000×350) 原高H=0.35m 総経閉B=1.00m
アルミ製スライドゲート (600×350) 原高H=0.35m 総経閉B=0.60m

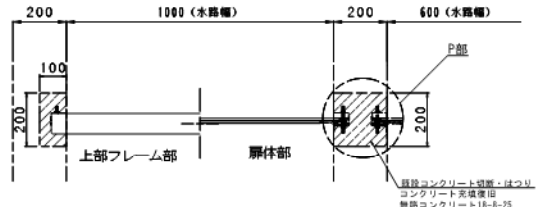
※ゲート等の各部の規格・寸法は標準であり、部品によって異なる場合は同等以上とする。

業種名	九州農政局 北部九州土地改良団管理事務所		
図面名	政所支線・馬場支線分岐部ゲート計画図(1/3)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮 尺	図示	図面番号	2-1
会社名	九州農政局 北部九州土地改良団管理事務所		
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良団管理事務所		

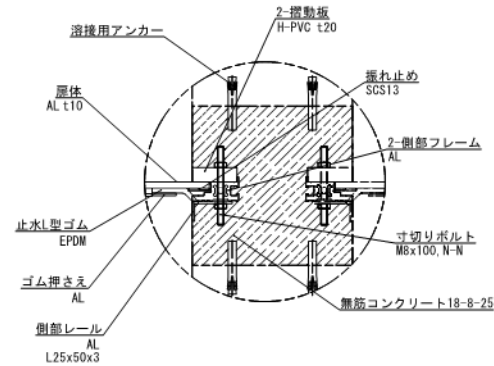
政所支線・馬場支線分岐部ゲート計画図(2/3)

平面図

S=1:10

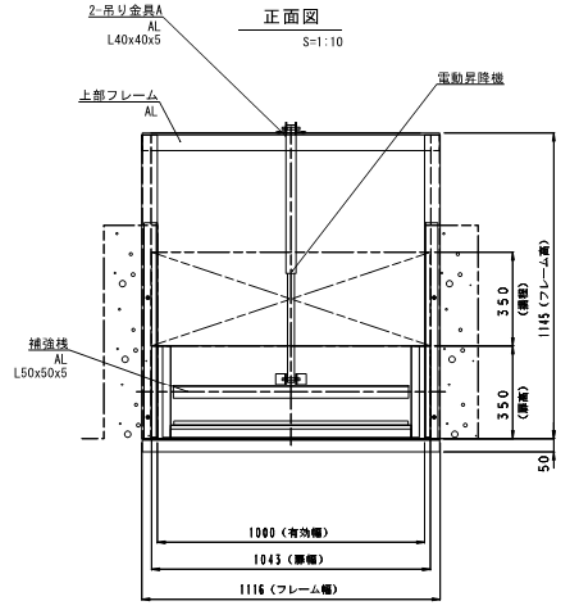


P部詳細図



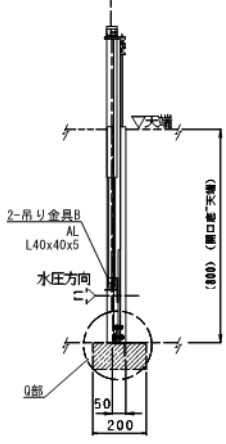
正面図

S=1:10

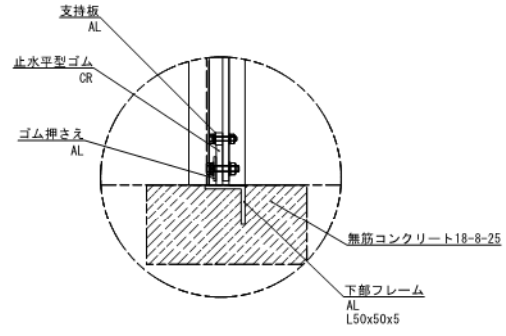


側面図

S=1:10



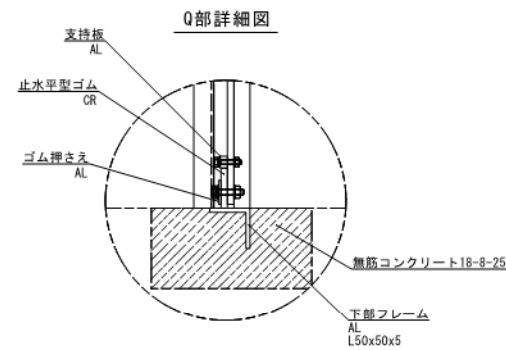
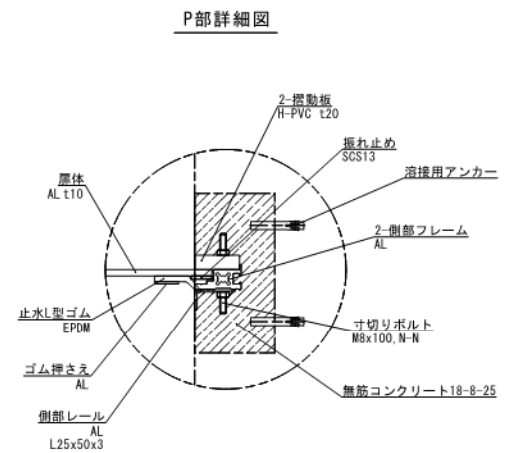
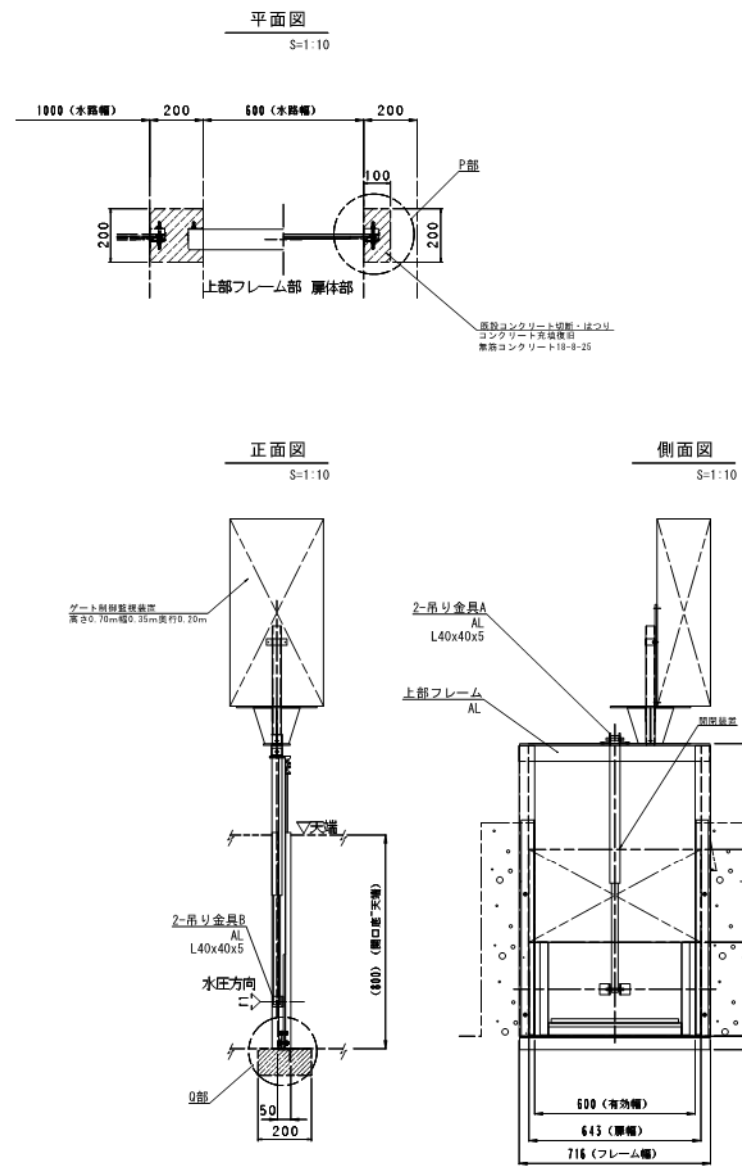
Q部詳細図



※ゲート等の各部の規格・寸法は標準であり、部品によって異なる場合は同等以上とする。

業務名	令和5年度よりCで実施事業 大野川上流治水対策事業(大野川上流治水対策事業)実施設計業務		
図面名	政所支線・馬場支線分岐部ゲート計画図(2/3)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	2-2
会社名			
事業所名	九州商政局 北九州土木改良調査管理事務所		

政所支線・馬場支線分岐部ゲート計画図(3/3)



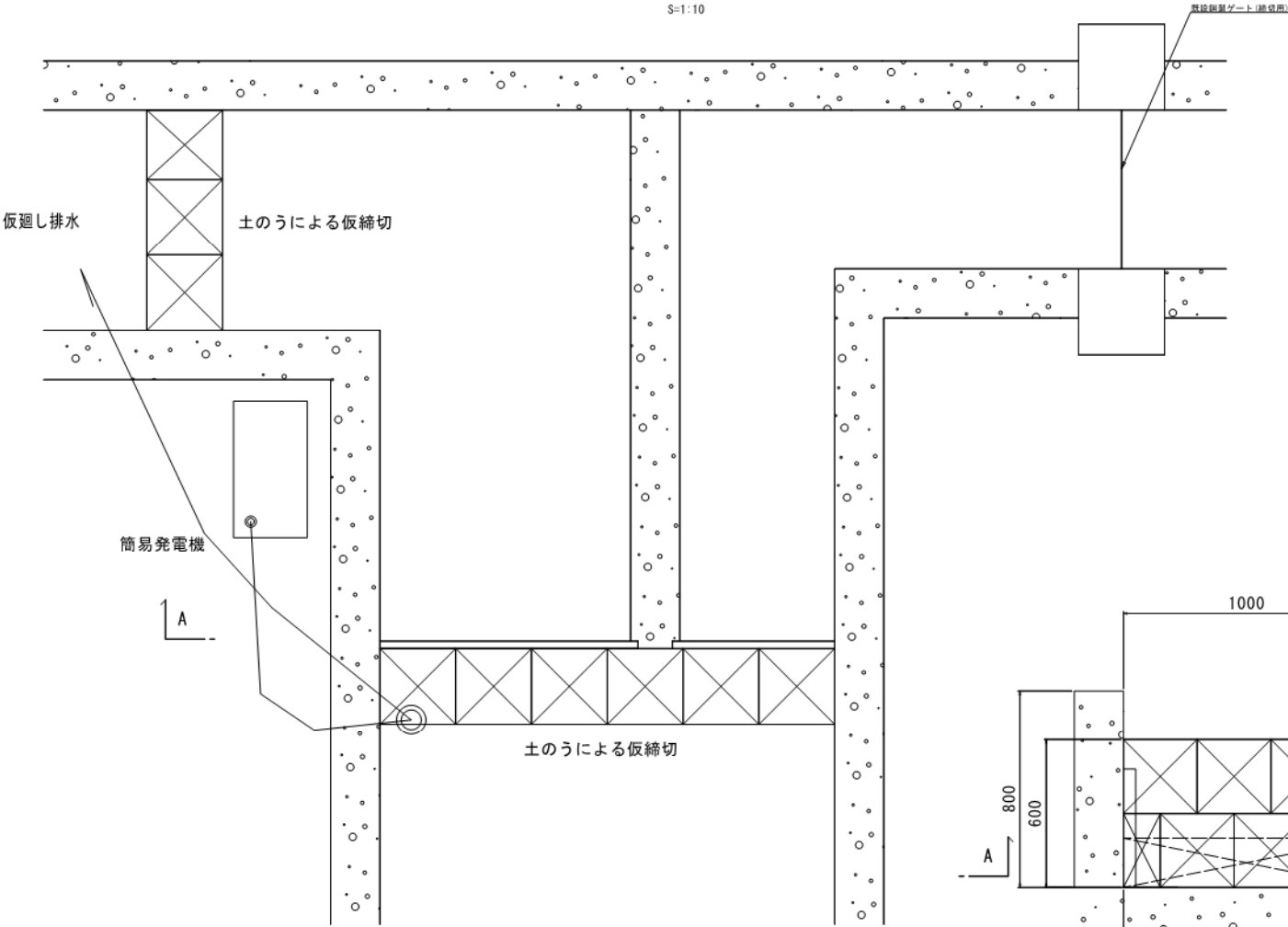
※ゲート等の各部の規格・寸法は標準であり、部品によって異なる場合は同等以上とする。

業務名	令和5年度より予定の事業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業		
図面名	政所支線・馬場支線分岐部ゲート計画図(3/3)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	2-3
会社名			
事業所名	九州建設局 北九州土木改良調査管理事務所		

政所支線・馬場支線分岐部ゲート仮設計画図

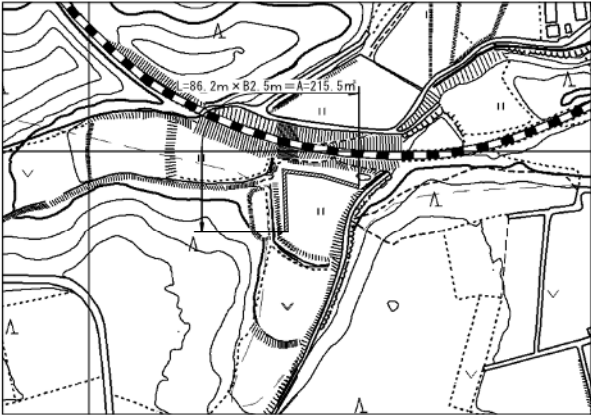
平面概略図

S=1:10



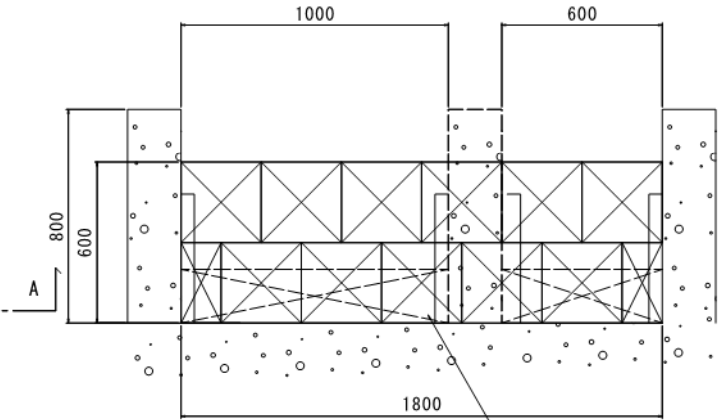
敷鉄板配置図

S=1:2,000



A-A' 断面

S=1:10



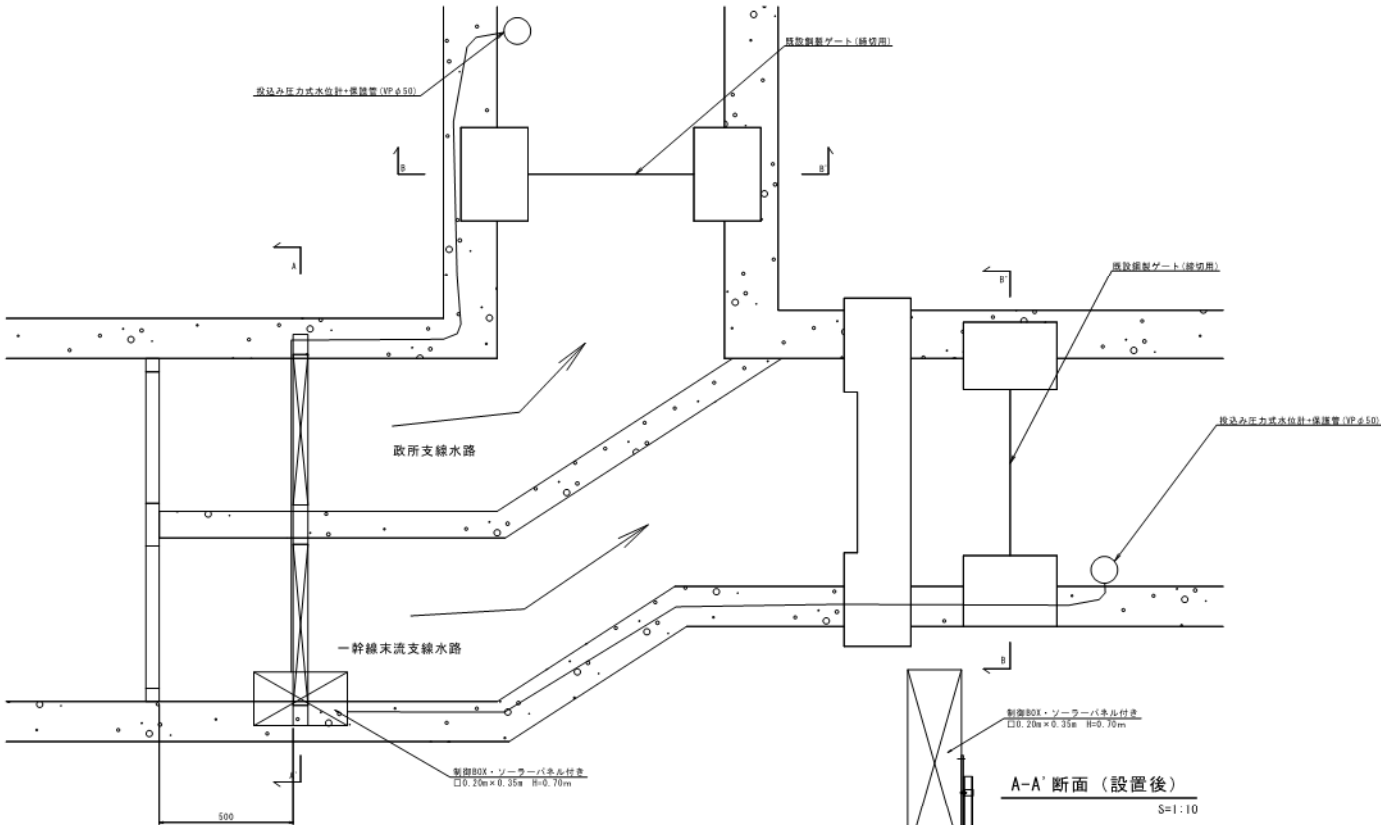
土のうによる仮締切（2段階み）

業務名	令和5年度より予定される事業 大野川上流治水対策事業（治水施設整備工事）		
図面名	政所支線・馬場支線分岐部ゲート仮設計画図		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	3
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良園管理事務所		

政所支線・一幹末支線分岐部ゲート計画図(1/3)

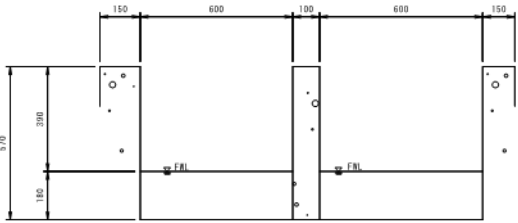
計画平面図

S=1:10



A-A'断面(設置前)

S=1:10

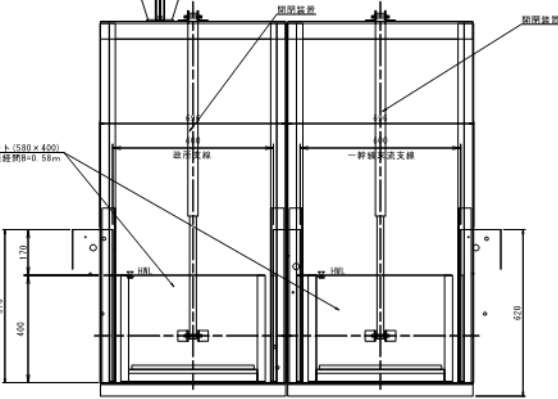


A-A'断面(設置後)

S=1:10

ゲート主軸スライドゲート(500×400)

扉高H=0.40m 扉幅B=0.55m



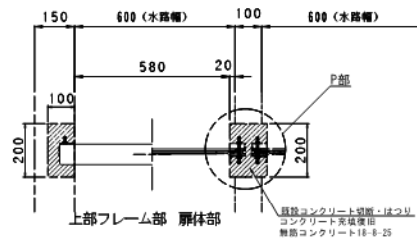
※ゲート等の各部の規格・寸法は標準であり、
部品によって異なる場合は同等以上とする。

業種名	九州電力株式会社 大分県上野地区支線等からなる支線管理事務所		
図面名	政所支線・一幹末支線分岐部ゲート計画図(1/3)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮 尺	図示	図面番号	4-1
会社名			
事業所名	九州電力株式会社 九州土地改良局管理事務所		

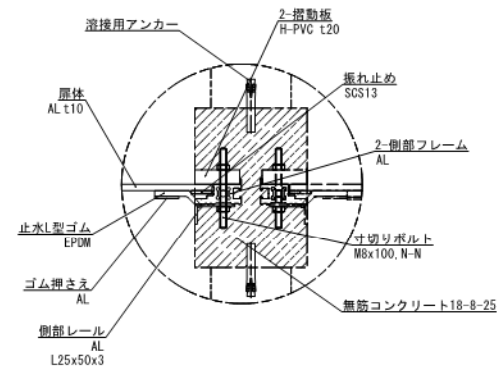
政所支線・一幹末支線分岐部ゲート計画図(2/3)

平面図

S=1:10

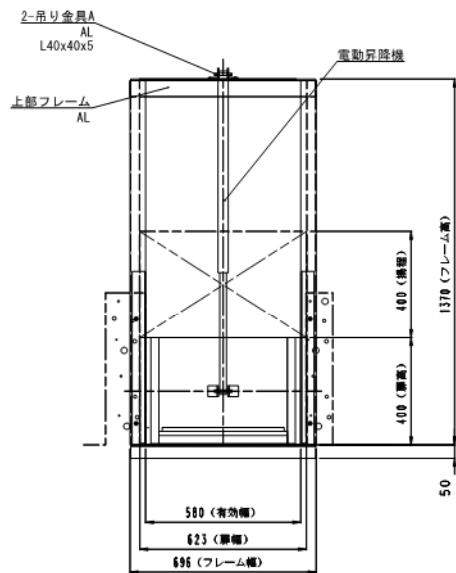


P部詳細図



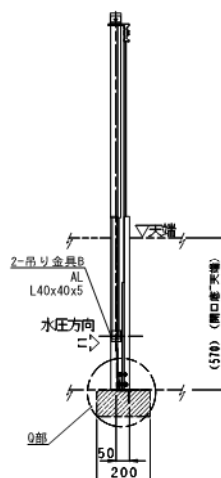
正面図

S=1:10

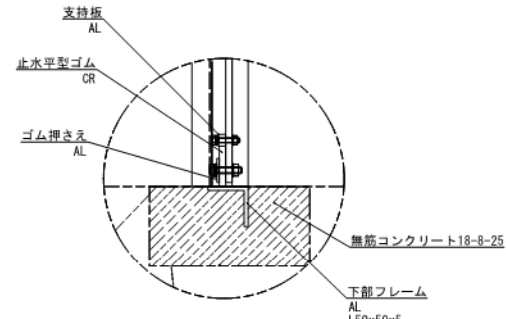


側面図

S=1:10



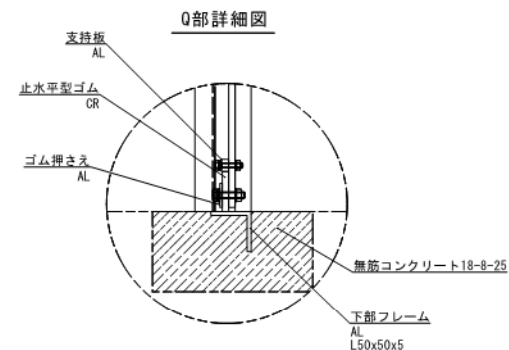
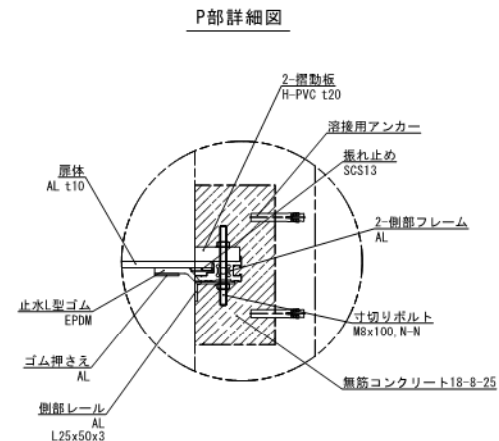
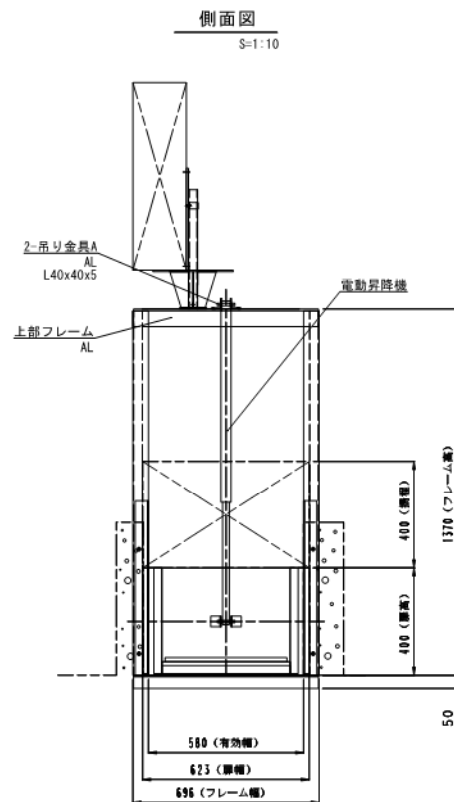
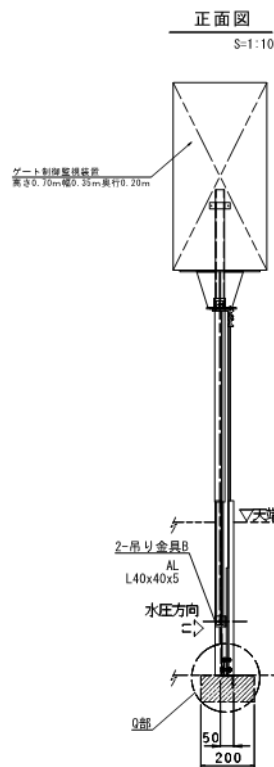
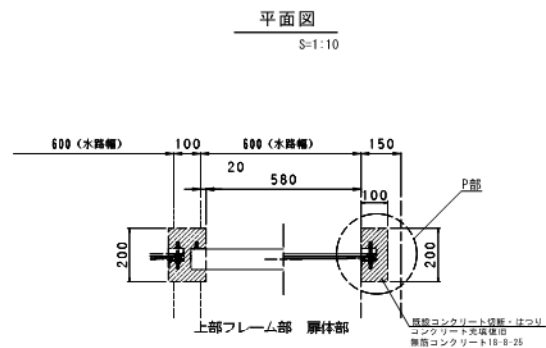
Q部詳細図



※ゲート等の各部の規格・寸法は標準であり、部品によって異なる場合は同等以上とする。

業務名	令和5年度よりCで代替事業 大野川上流治水管理強化及び施設整備工事		
図面名	政所支線・一幹末支線分岐部ゲート計画図(2/3)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	4-2
会社名			
事業所名	九州農政局 北九州土地改良園定管理事務所		

政所支線・一幹末支線分岐部ゲート計画図 (3/3)



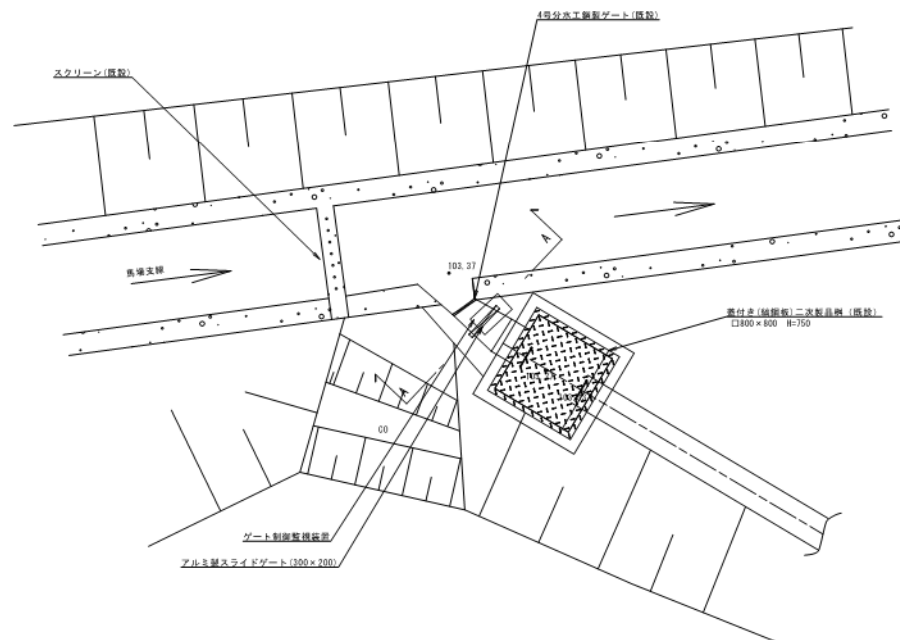
※ゲート等の各部の規格・寸法は標準であり、部品によって異なる場合は同等以上とする。

業務名	昭和44年度より建設省 大野川上流治水事業 大野川上流治水事業 大野川上流治水事業		
図面名	政所支線・一幹末支線分岐部ゲート計画図 (3/3)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
図 尺	図示	図面番号	4-3
会社名			
事業所名	九州商政局 北九州土木改良調査事務所		

馬場支線4号分水工ゲート計画図(1/2)

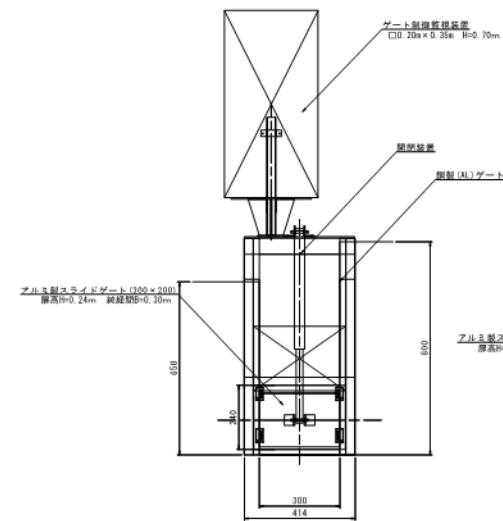
平面图

S=1 : 25

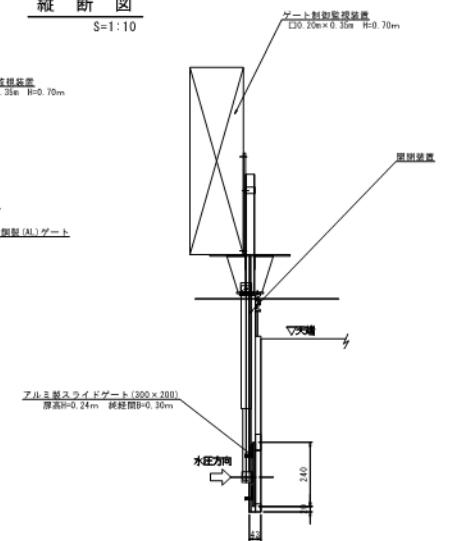


断面图A-A

S=1 : 10



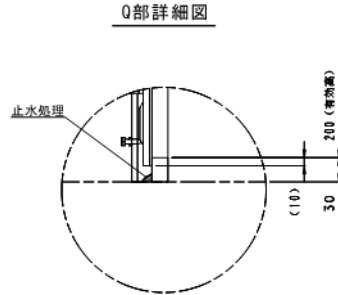
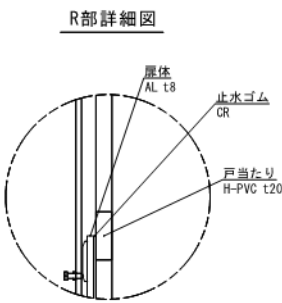
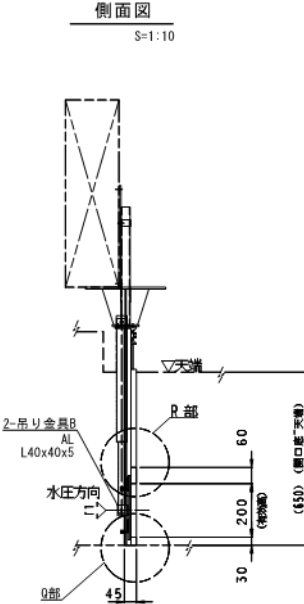
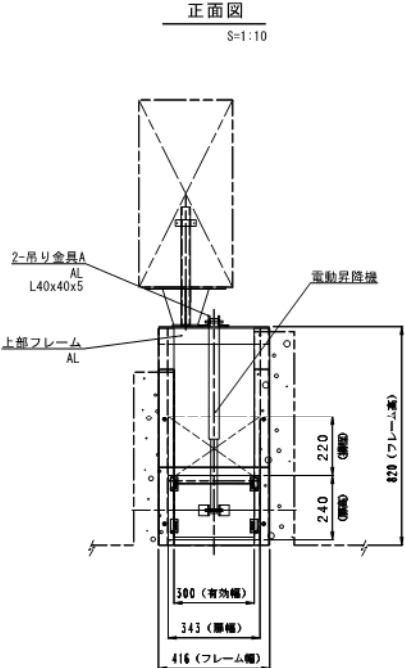
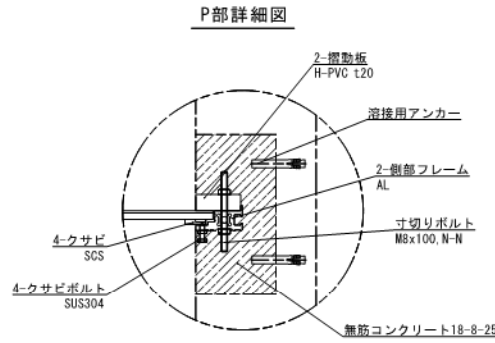
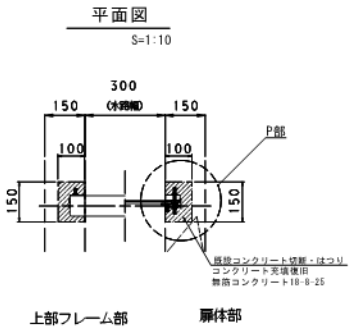
縦断図

$$S=1:10$$


※ゲート等の各部の規格・寸法は標準であり、部品によって異なる場合は同等以上とする。

業務名	令和5年度「G7でサマナラ」 大野川上流治水管理強化プロジェクト推進関係工事		
図面名	馬場支線4号分水ゲート計画図(1/2)		
作成年月日	令和6年3月		
様式	図示	図面番号	5-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北九州土地改良局食糧管理事務所		

馬場支線4号分水エゲート計画図 (2/2)



※ゲート等の各部の規格・寸法は標準であり、部品によって異なる場合は同等以上とする。

業務名	昭和45年度より建設省 大野川上流治水事業 大野川上流治水事業 大野川上流治水事業		
図面名	馬場支線4号分水エゲート計画図 (2/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
図 尺	図示	図面番号	5-2
会社名			
事業所名	九州商政局 北都九州土地改良調査事務所		

自動給水ゲート設置計画平面図

N

S=1 : 2500 (A0)

凡 例

①	自動給水ゲートA-BF250型
②	自動給水ゲートA-BF300型
③	自動給水ゲートA-BF500型
④	自動給水ゲートB-二次製品型
⑤	B-珪藻打型
⑥	既設直付型

製図者 国土院建設部土木研究所

調査者 国土院建設部土木研究所

調査年度 平成17年度

縮尺 1:2,500

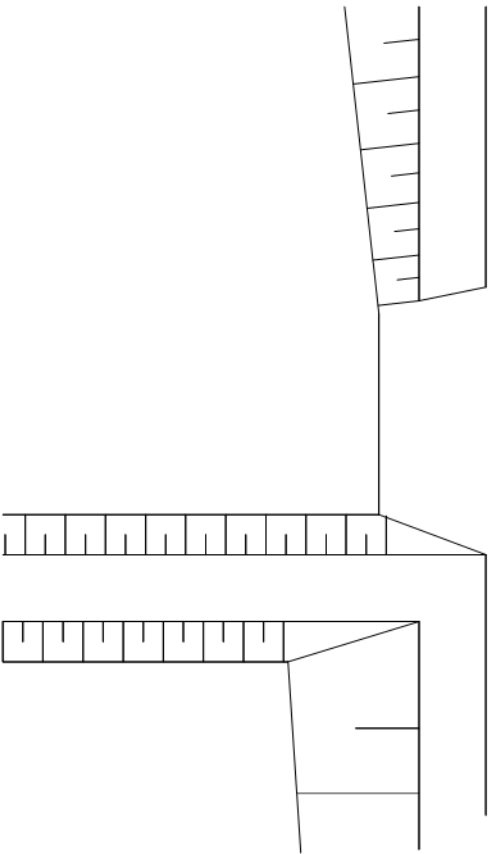
資料名 国土院建設部土木研究所

- | 凡 例 | |
|-----|-----------------|
| ① | 自動給水ゲートA-BF250型 |
| ② | 自動給水ゲートA-BF300型 |
| ③ | 自動給水ゲートA-BF500型 |
| ④ | 自動給水ゲートB-二次製品構造 |
| ⑤ | B-現場打型 |
| ⑥ | 既設直付型 |

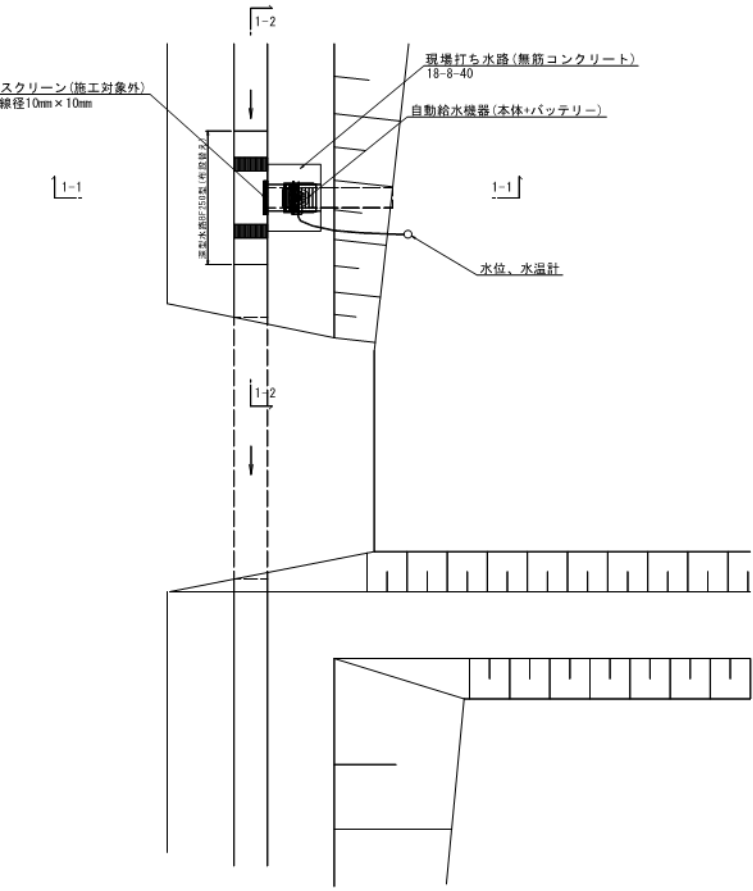
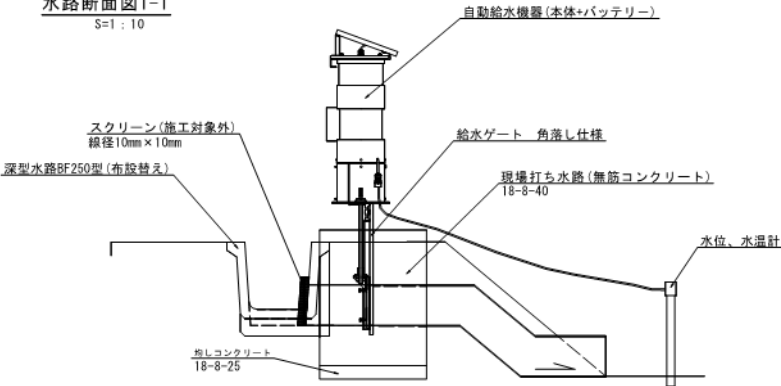
実用名	佛蘭西名産(1)7年産白葡萄酒 北部九州産白葡萄酒(7年産)製造者登録		
製造名	山崎葡萄酒ヤード株式会社京都府京都市		
平成元年月日	昭和65年1月		
瓶 尺	0.7 L (500)	製造費用	6
包装名			
専業店名	九州農産物 北部九州土地改良計画管理専業店		

①型：自動給水ゲート A-BF250型 標準図(1/2)

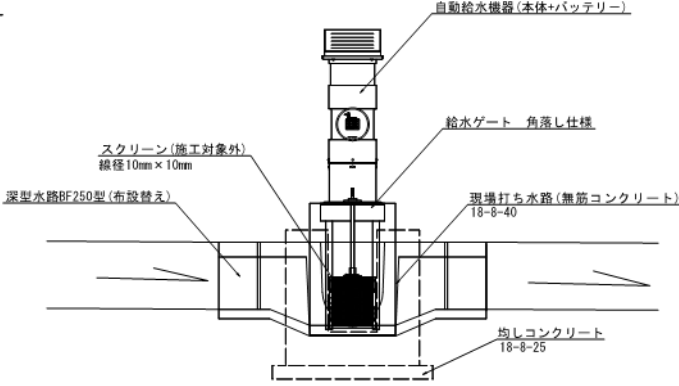
平面図
S=1 : 20



水路断面図1-1
S=1 : 10



水路縦断面図1-2
S=1 : 10



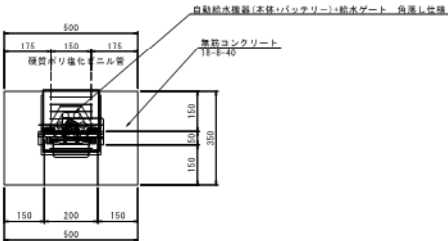
業務名	令和5年度より実施される事業 大野川上流治水対策事業(大野川上流治水対策事業(大野川上流治水対策事業))		
図面名	①型：自動給水ゲート A-BF250型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	7-1
会社名	九州農政局 北部九州土地改良園管理事務所		
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良園管理事務所		

①型：自動給水ゲート A-BF250型 標準図 (2/2)

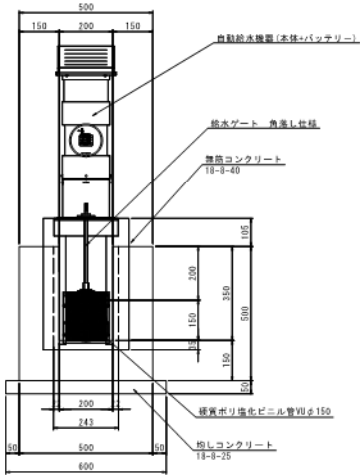
水路直接A型現場打水路構造図

S=1 : 10

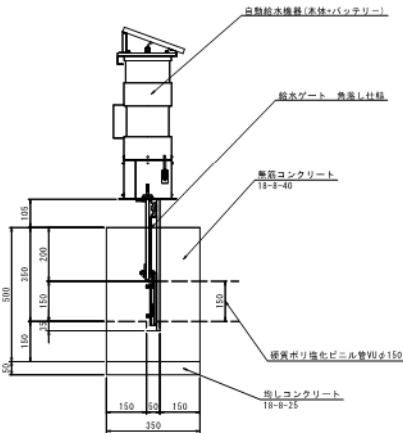
平面図



正面図

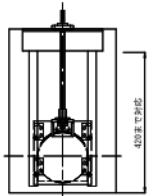
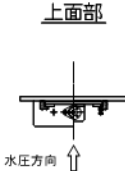


断面図

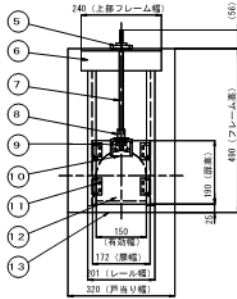
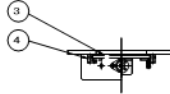


給水ゲート 角差し仕様
参考図 (ゲート標準図)

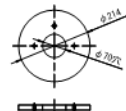
S=1 : 8



底面部



ベースプレート



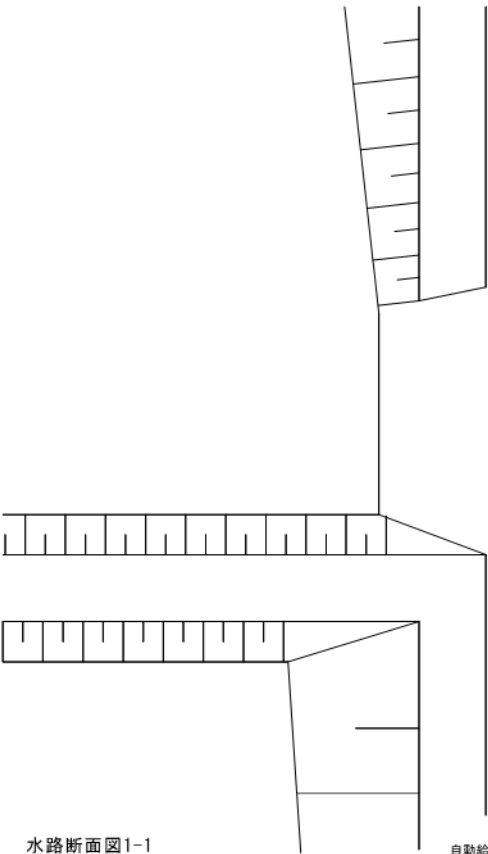
番号	名称	数量	材質
1	-	-	-
2	-	-	-
3	止水ゴム	1	CR PL3
4	レール	2	AL
5	ピロー	1	H-PVC
6	上部フレーム	1	A6063
7	スピンドル	1	SUS303 φ12 (2条)
8	フランジナット	1	CAC406 (2条)
9	ストッパー	1	AL
10	ナットベース	1	ABS
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8
13	戸当り	1	H-PVC PL12

	(mm)
リード	6
揚程	160
最大揚程	210
有効高	150
有効幅	150

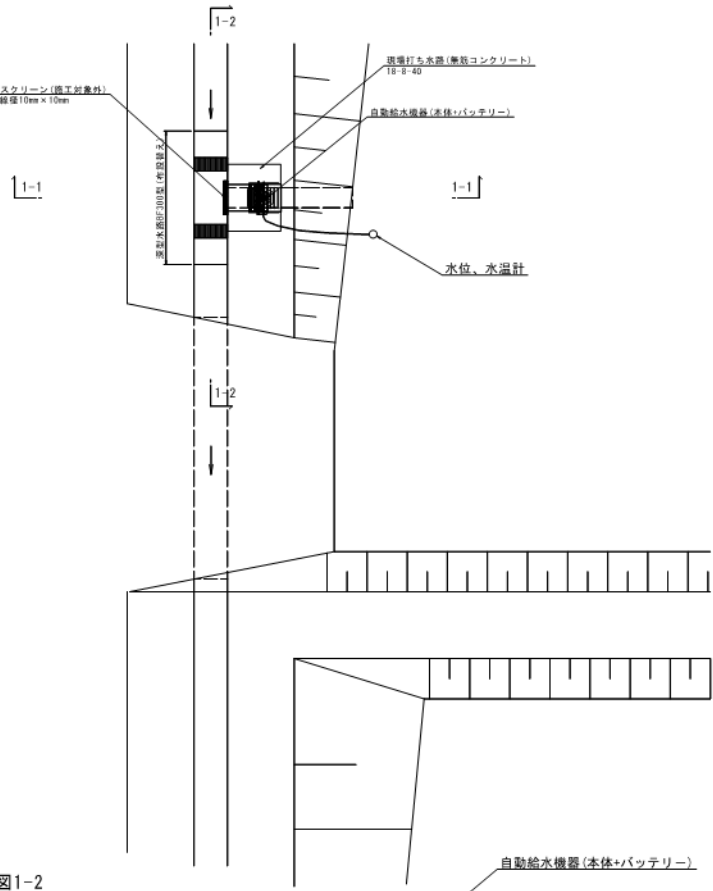
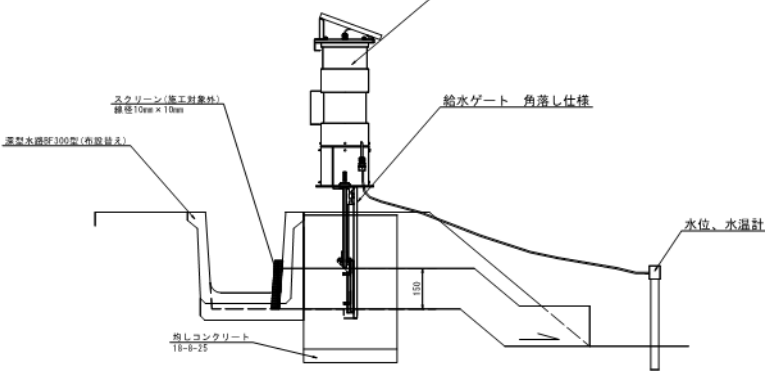
業務名	令和5年度LCCTでつぎ事業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業
図面名	①型：自動給水ゲート A-BF250型 標準図 (2/2)
作成年月日	令和6年3月
図尺	図示 図面番号 7-2
会社名	
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良園管理事務所

②型：自動給水ゲート A-BF300型 標準図(1/2)

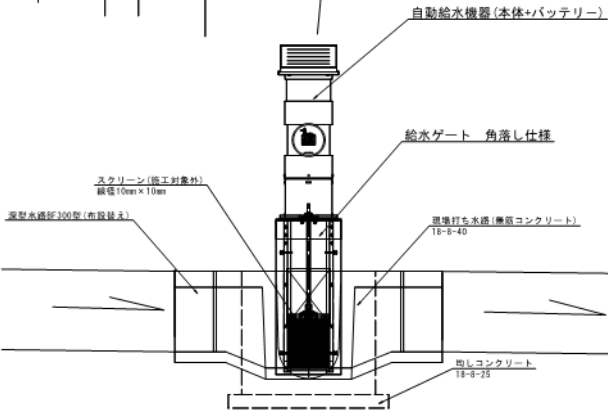
平面図
S=1：20



水路断面図1-1
S=1：10



水路縦断面図1-2
S=1：10



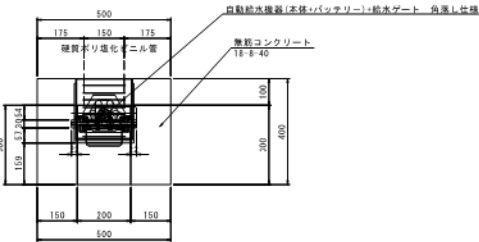
業務名	令和5年度よりでてがき事業 大野川上流治水対策事業（水防施設整備工事）		
図面名	②型：自動給水ゲート A-BF300型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	8-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良園管理事務所		

②型：自動給水ゲート A-BF300型 標準図 (2/2)

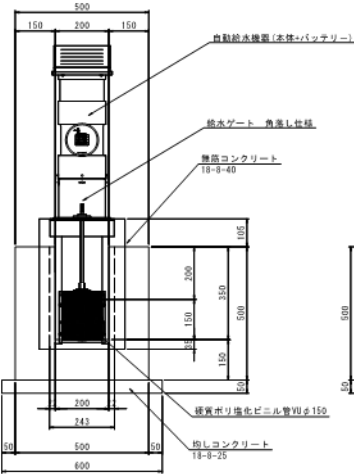
水路直接A型現場打水路構造図

S=1 : 10

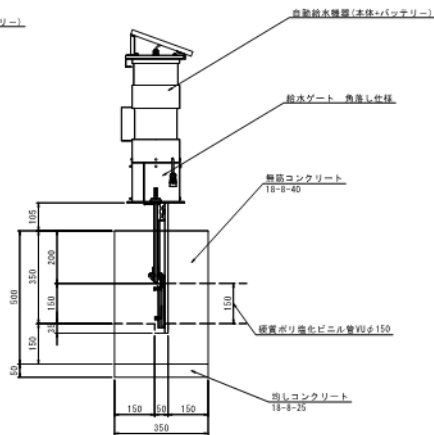
平面図



正面図



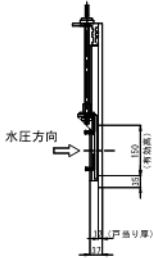
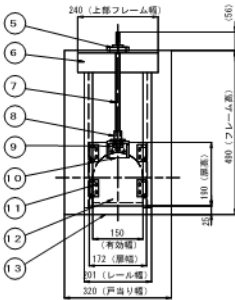
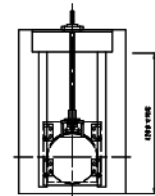
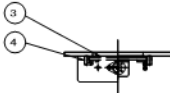
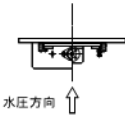
断面図



給水ゲート 角差し仕様
参考図 (ゲート標準図)

S=1 : 8

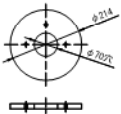
上面部



底面部



ベースプレート



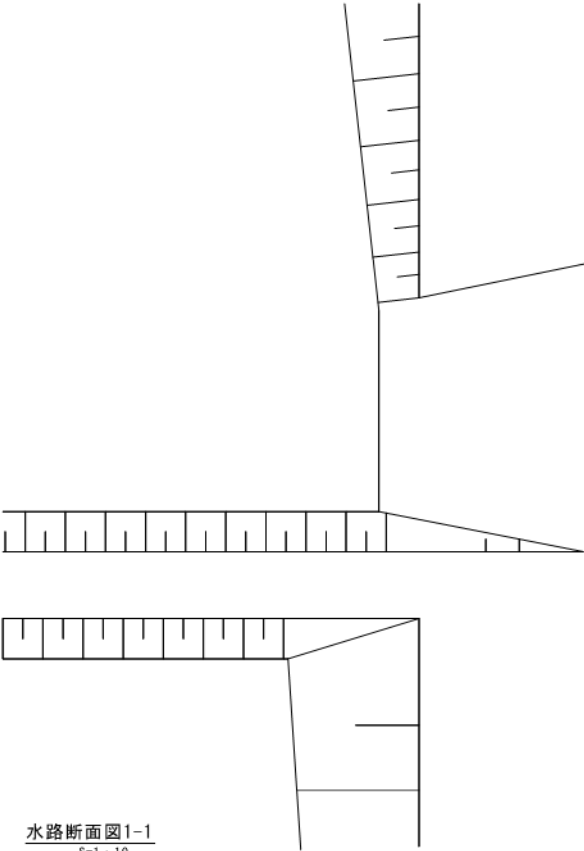
番号	名称	数量	材質
1	-	-	-
2	-	-	-
3	止水ゴム	1	CR PL3
4	レール	2	AL
5	ピロー	1	H-PVC
6	上部フレーム	1	A6063
7	スピンドル	1	SUS303 φ 12 (2条)
8	フランジナット	1	CAC406 (2条)
9	ストッパー	1	AL
10	ナットベース	1	ABS
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8
13	戸当り	1	H-PVC PL12

(mm)	
リード	6
揚程	160
最大揚程	210
有効高	150
有効幅	150

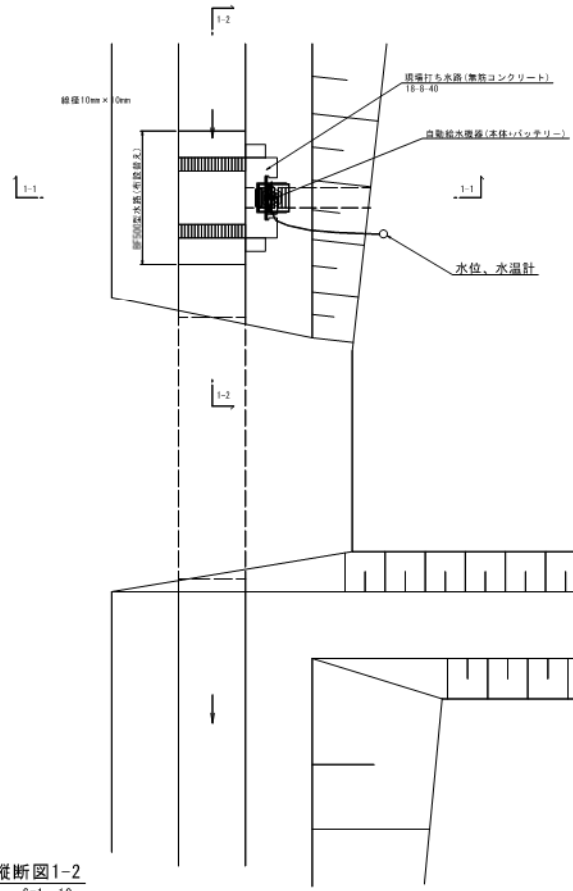
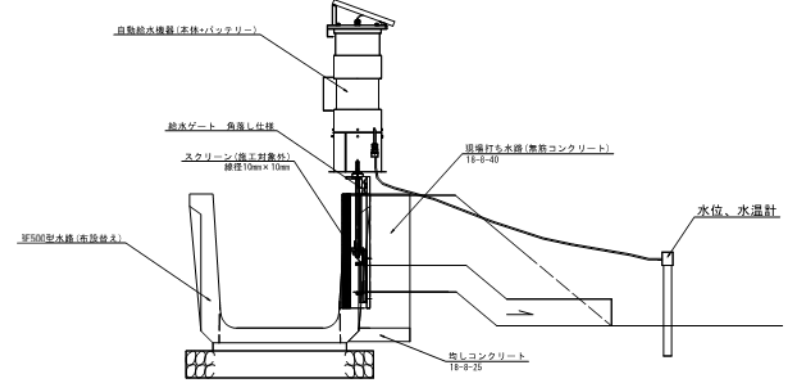
業務名	令和5年度LCCTでつなぐ事業 大野川上流治水対策事業(大野川上流治水対策事業)実施工事		
図面名	②型 自動給水ゲート A-BF300型 標準図 (2/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	8-2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良団地管理事務所		

③型：自動給水ゲート A-BF500型 標準図 (1/2)

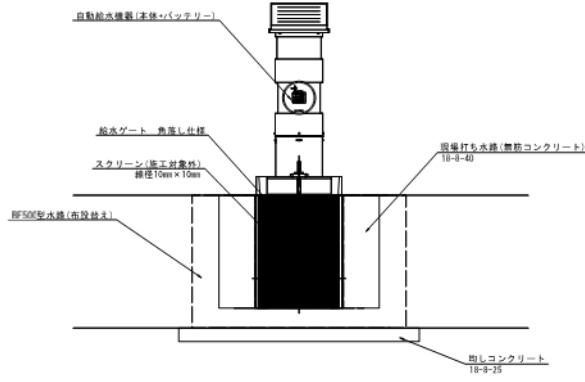
平面図
S=1 : 20



水路断面図1-1
S=1 : 10



水路縦断面図1-2
S=1 : 10



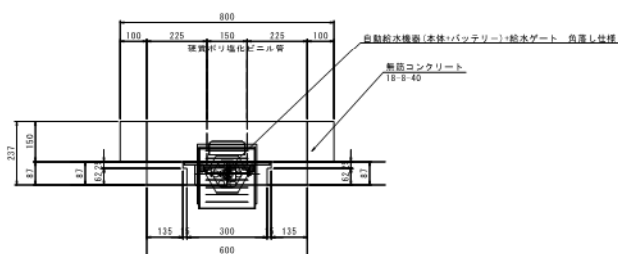
業務名	令和5年度より実施予定 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業		
図面名	③型：自動給水ゲート A-BF500型標準図 (1/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	9-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

③型：自動給水ゲート A-BF500型 標準図 (2/2)

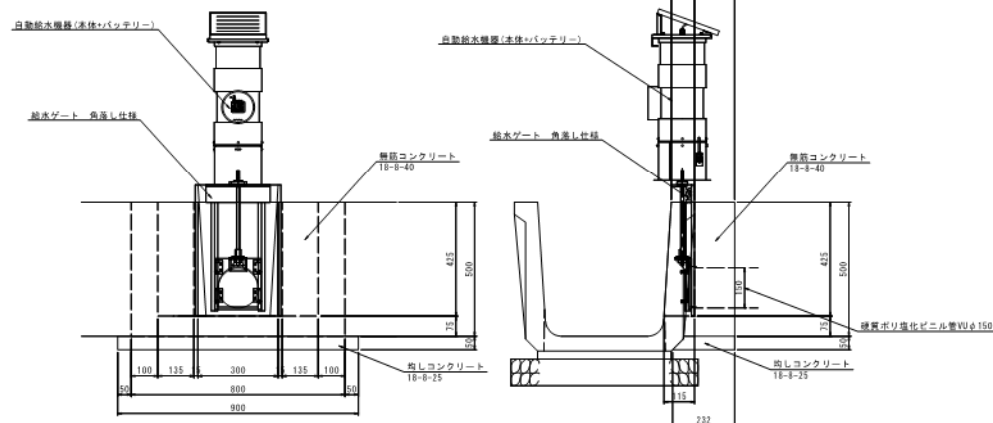
角落し壁構造図

S=1 : 10

平面図



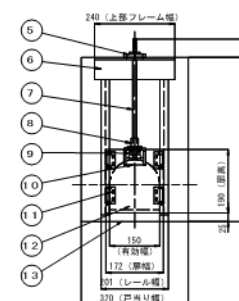
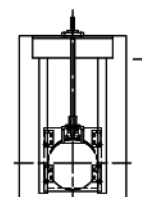
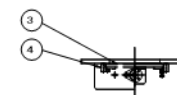
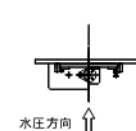
断面図



給水ゲート 角落し仕様
参考図 (ゲート標準図)

S=1 : 8

上面部



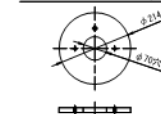
番号	名称	数量	材質
1	-	-	-
2	-	-	-
3	止水ゴム	1	CR PL3
4	レール	2	AL
5	ピロー	1	H-PVC
6	上部フレーム	1	A6063
7	スピンドル	1	SUS303 φ12 (2条)
8	フランジナット	1	CAC406 (2条)
9	ストッパー	1	AL
10	ナットベース	1	ABS
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8
13	戸当り	1	H-PVC PL12

	(mm)
リード	6
揚程	160
最大揚程	210
有効高	150
有効幅	150

底面部



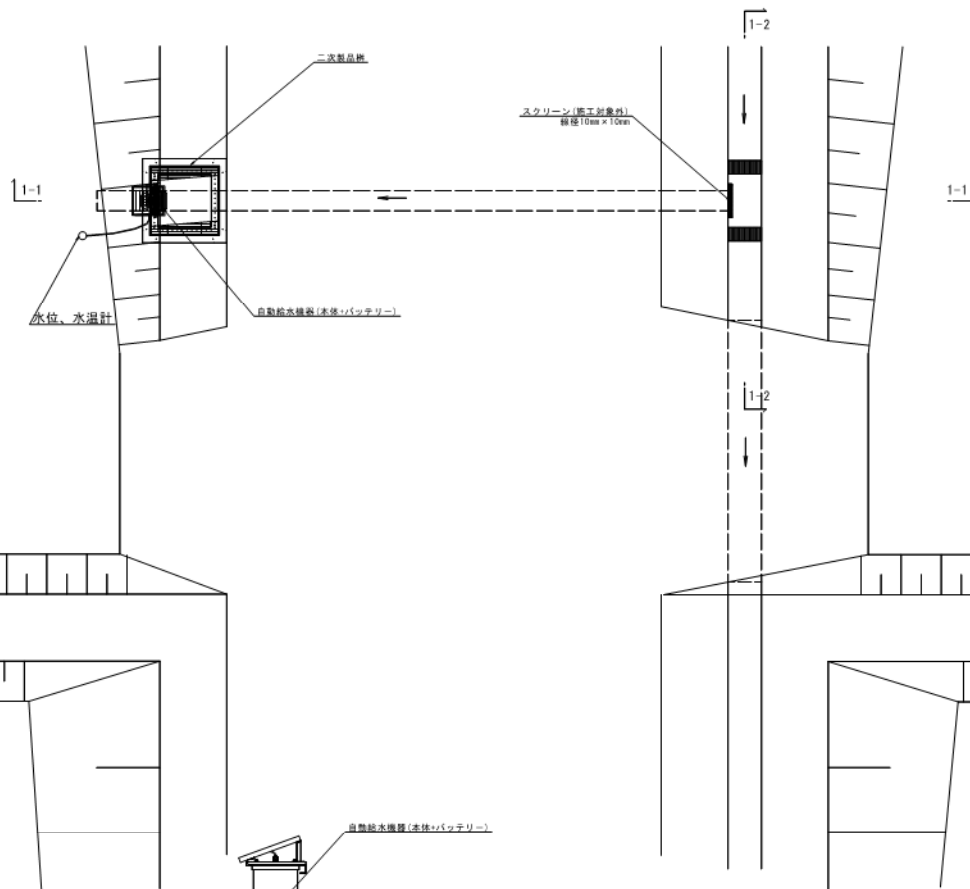
ベースプレート



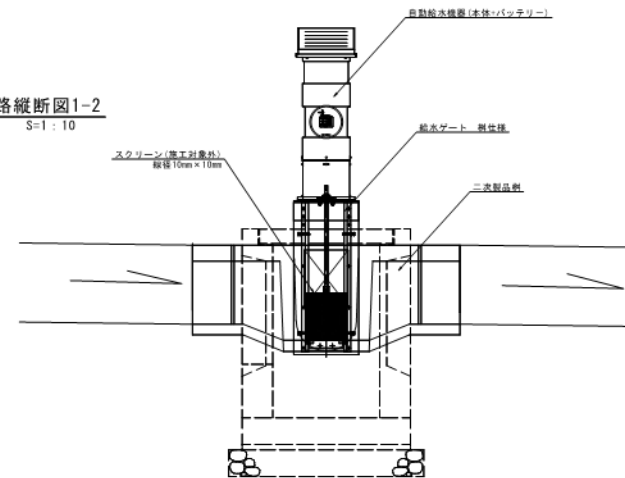
業務名	令和5年度LCGモデル事業 大野川上流治水管理強化対策施設整備工事
図面名	③型：自動給水ゲート A-BF500型 標準図 (2/2)
作成年月日	令和6年3月
図尺	図示 図面番号 9-2
会社名	
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良園営管理事務所

④型：自動給水ゲート B-二次製品柵型 標準図 (1/2)

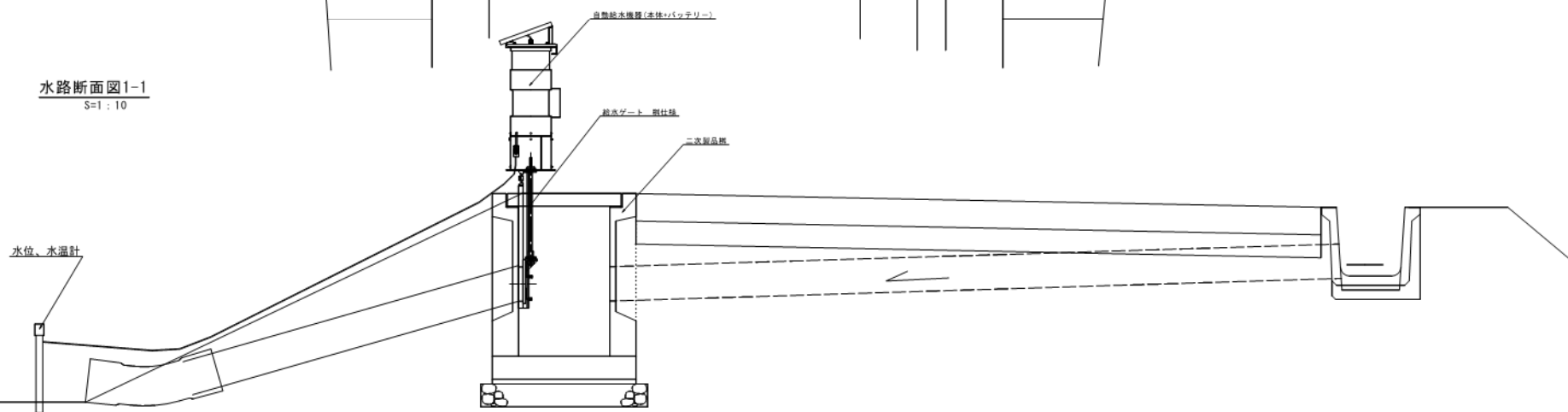
平面図
S=1:20



水路縦断面図1-2
S=1:10



水路断面図1-1
S=1:10



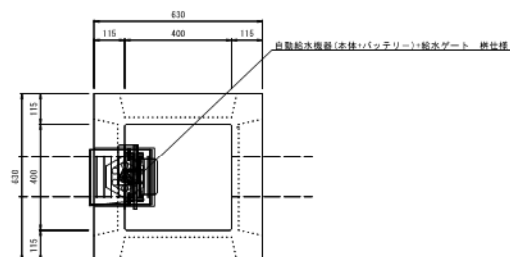
業務名	令和5年度よりでがみ事業 大野川上流治水対策事業(水防対策)工事		
図面名	④型：自動給水ゲート B-二次製品柵型 標準図 (1/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	10-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

④型：自動給水ゲート B-二次製品柵型 標準図 (2/2)

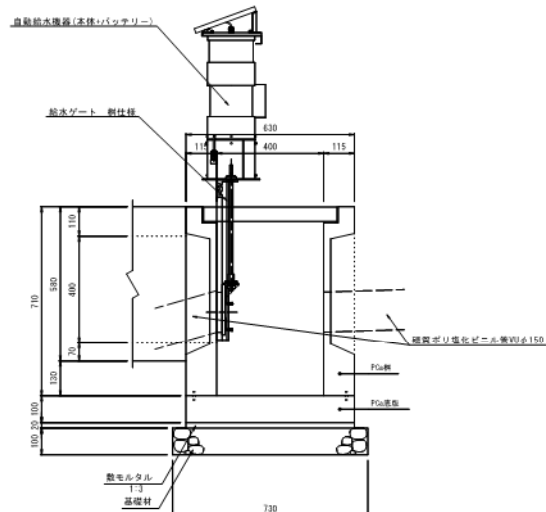
二次製品柵平面図

S=1 : 10

平面図



断面図



数量表

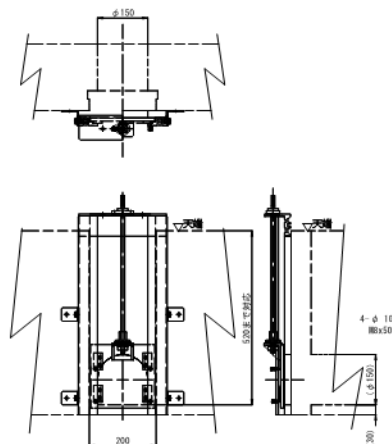
1箇所当たり

名 称	規 格	算 定 式	単位	数 量
基 礎 材	t=100mm	0.73+0.73	m ²	0.53
数モルタル	1 : 3	0.63+0.63+0.02	m ³	0.01
c鋼	400A用	参考質量: 245kg	基	1
プレキャスト底板	400用	参考質量: 95kg	枚	1

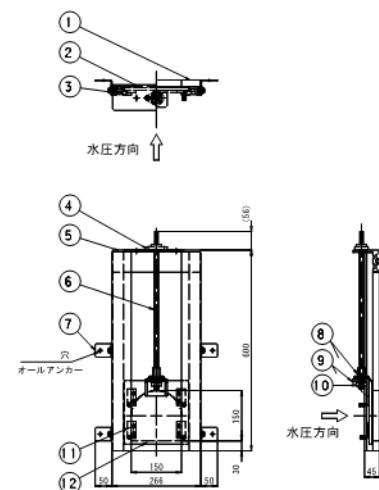
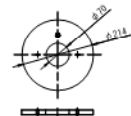
給水ゲート 柵仕様

参考図 (ゲート標準図)

S=1 : 8



ベースプレート



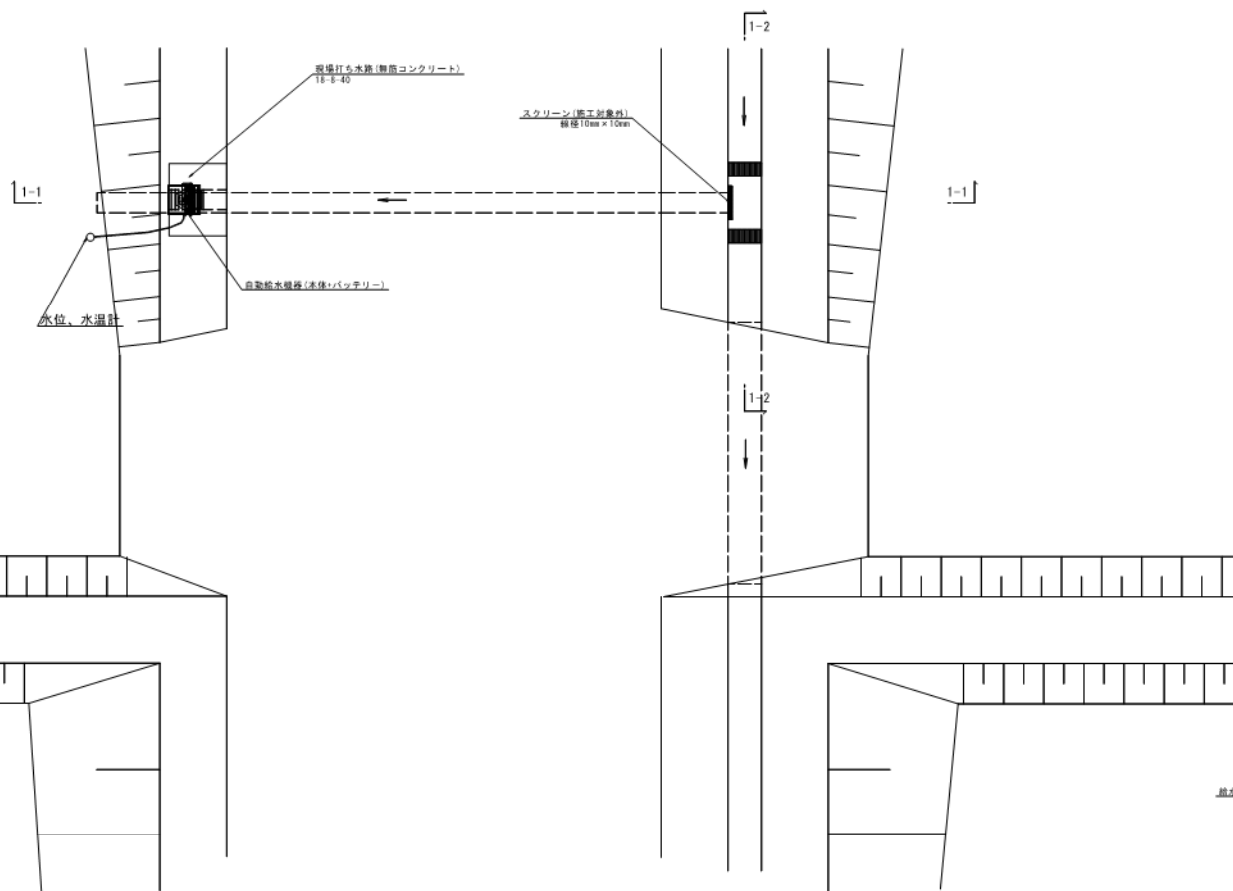
番 号	名 称	数 量	材 質
1	戸当り	1	H-PVC PL20
2	止水ゴム	1	CR
3	側部フレーム	2	AL
4	ピロー	1	H-PVC
5	上部フレーム	1	A6063
6	スピンドル	1	SUS304 φ12 (2条)
7	フリーアングル	4	SUS304
8	フランジナット	1	CAC406 (2条)
9	ナットベース	1	ABS
10	ストッパー	1	AL
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8

リード	6
揚 程	160
最大揚程	
有効高	150
有効幅	150

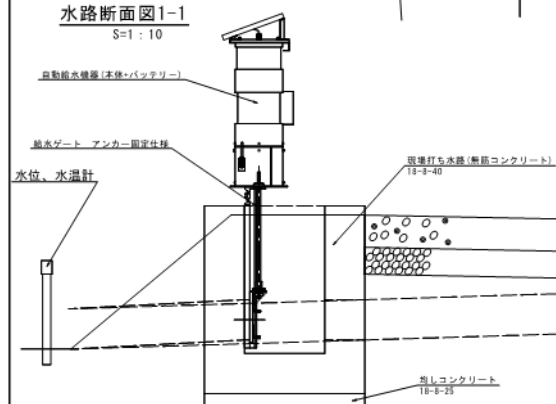
業務名	令和5年度LCCTでつなぐ事業 大野川上流治水管理強化と治水施設整備工事		
図面名	④型：自動給水ゲート B-二次製品柵型 標準図 (2/2)		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
図 尺	図示	図面番号	10-2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良園造管理事務所		

⑤型：自動給水ゲート B-現場打型 標準図(1/2)

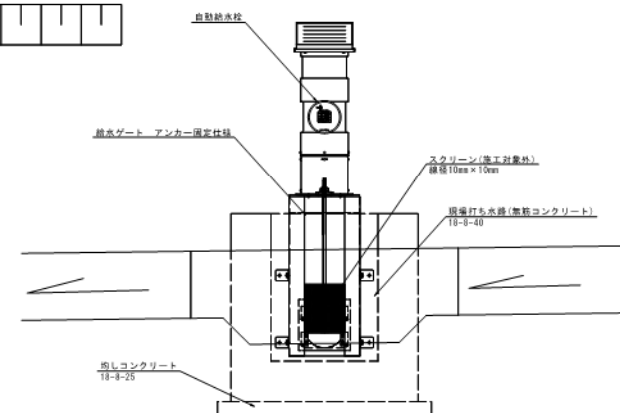
平面図
S=1:20



水路断面図1-1
S=1:10



水路縦断面図1-2
S=1:10

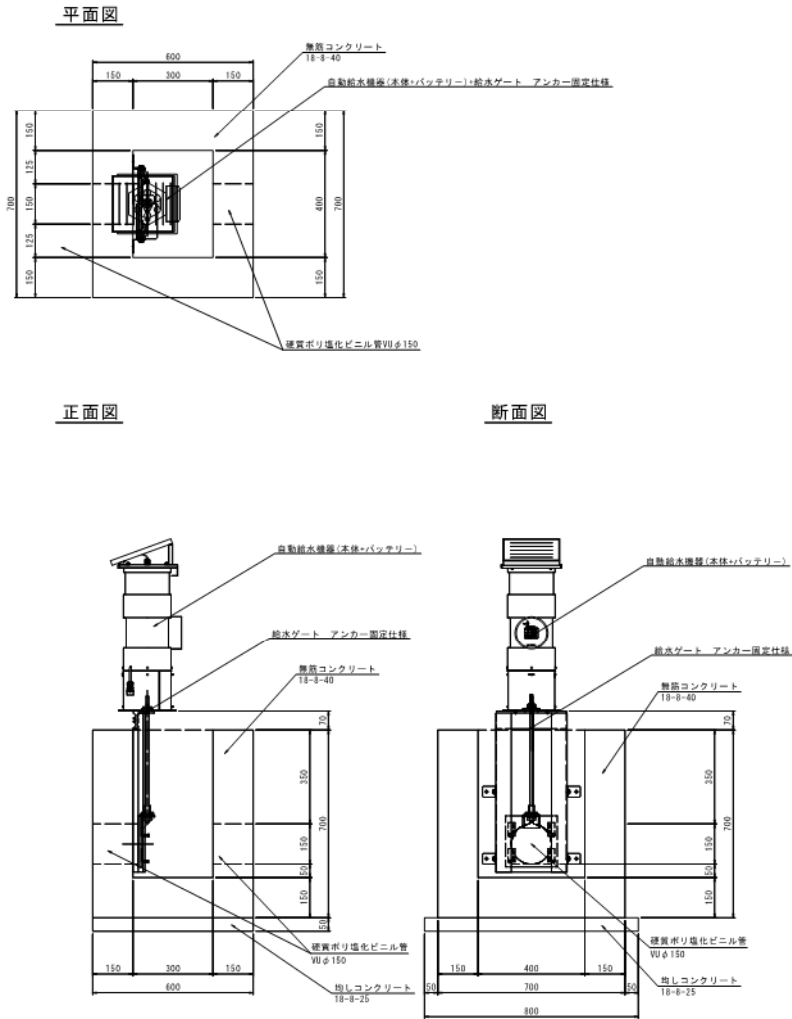


業務名	令和5年度よりCで指定事業 大野川上流治水対策事業(水防施設整備工事)		
図面名	⑤型：自動給水ゲート B-現場打型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	11-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良園営管理事務所		

⑤型：自動給水ゲート B-現場打型 標準図 (2/2)

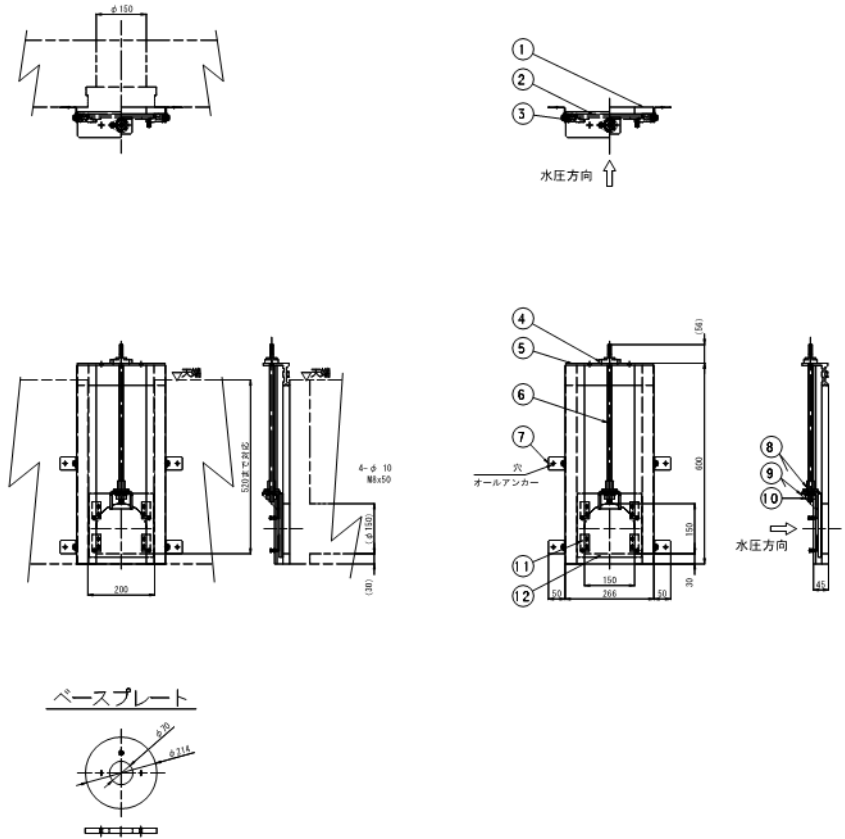
B-1型現場打水路構造図

S=1:10



給水ゲート アンカー固定仕様
参考図 (ゲート標準図)

S=1:8



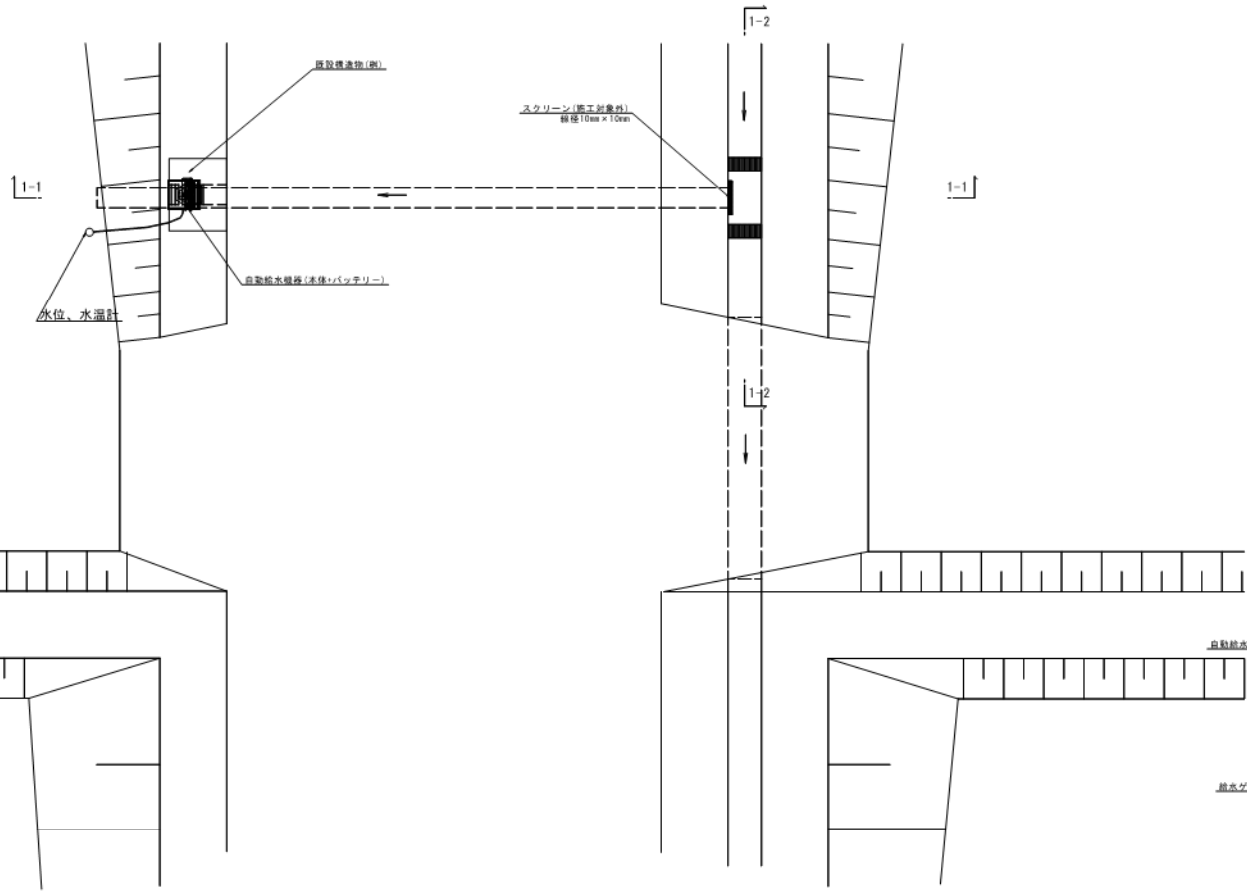
番号	名称	数量	材質
1	戸当り	1	H-PVC PL20
2	止水ゴム	1	OR
3	側部フレーム	2	AL
4	ピロー	1	H-PVC
5	上部フレーム	1	A6063
6	スピンドル	1	SUS304 φ12 (2条)
7	フリーアングル	4	SUS304
8	フランジナット	1	CAC406 (2条)
9	ナットベース	1	ABS
10	ストッパー	1	AL
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8

リード	6
揚程	160
最大揚程	
有効高	150
有効幅	150

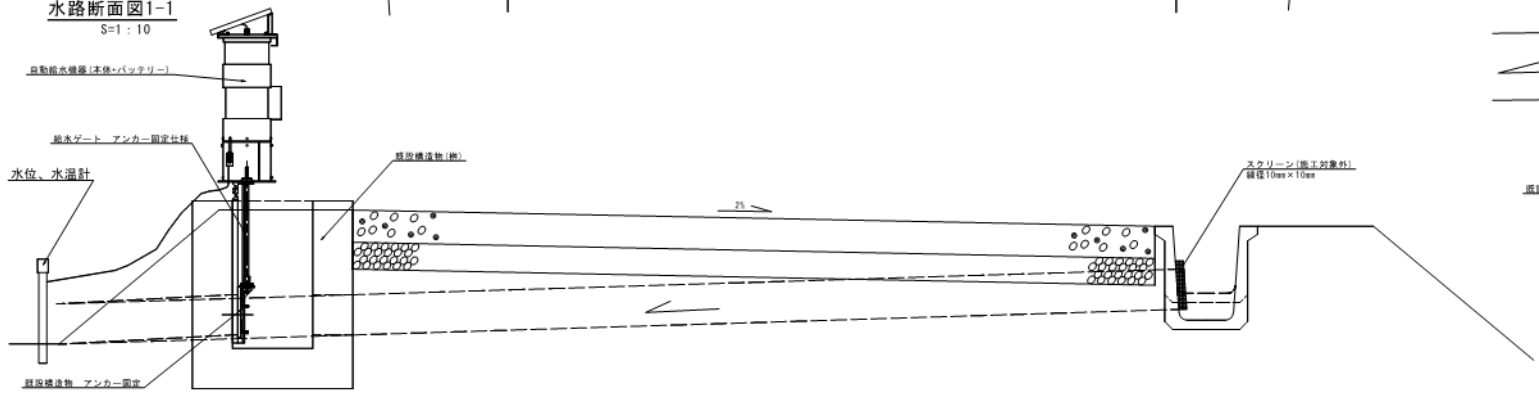
業務名	令和5年度LCCTでがき事業 大野川上流治水対策事業(大野川治水対策事業)実施工事		
図面名	⑤型：自動給水ゲート B-現場打型 標準図 (2/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	11-2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良団地管理事務所		

⑥型：自動給水ゲート 既設直付型 標準図(1/2)

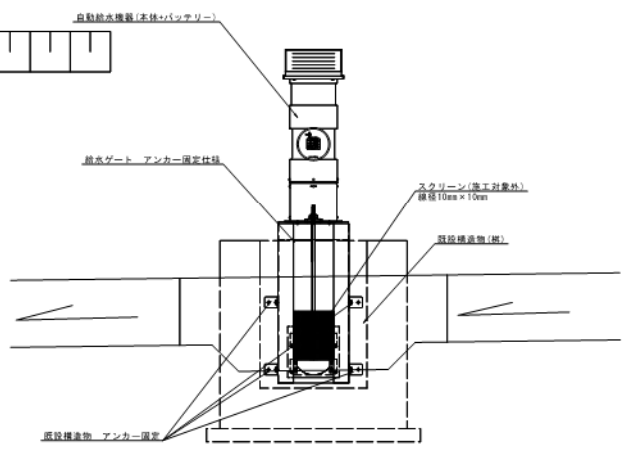
平面図
S=1:20



水路断面図1-1
S=1:10



水路縦断面図1-2
S=1:10

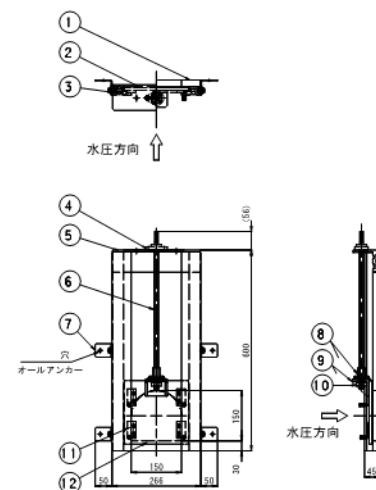
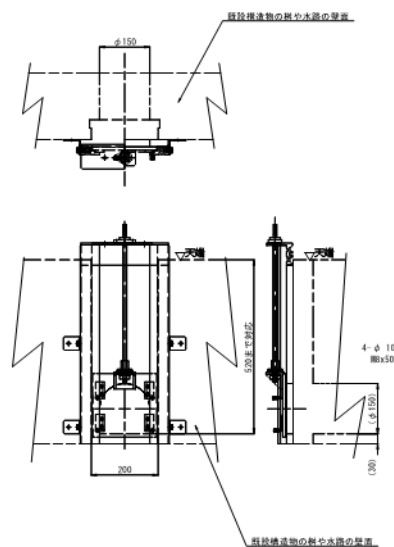


業務名	令和5年度よりにて実施事業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業 大野川上流治水対策事業		
図面名	⑥型 自動給水ゲート 既設直付型 標準図(1/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	12-1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

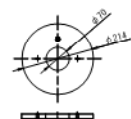
⑥型：自動給水ゲート 既設直付型 標準図 (2/2)

給水ゲート アンカー固定仕様
参考図（ゲート標準図）

S=1：8



ベースプレート



番号	名称	数量	材質
1	戸当り	1	H-PVC PL20
2	止水ゴム	1	CR
3	側部フレーム	2	AL
4	ピロー	1	H-PVC
5	上部フレーム	1	A6063
6	スピンドル	1	SUS304 φ12 (2条)
7	フリーアングル	4	SUS304
8	フランジナット	1	CAC406 (2条)
9	ナットベース	1	ABS
10	ストッパー	1	AL
11	クサビ	4	SCS13
12	扉体	1	AL PL8

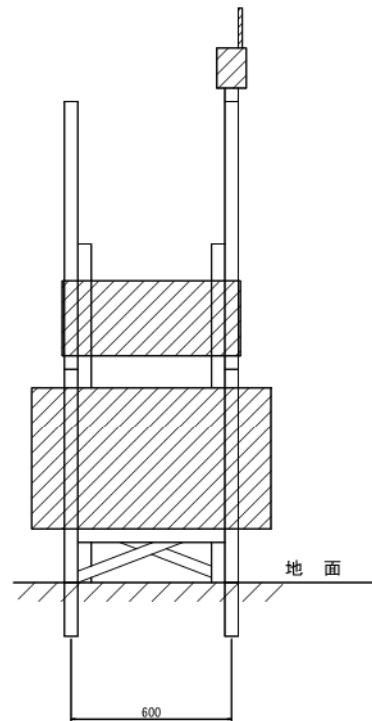
リード	6
揚程	160
最大揚程	
有効高	150
有効幅	150

業務名	令和5年度（2023年度）水防対策事業 大野川上流治水対策事業（水防対策施設整備工事）		
図面名	⑥型：自動給水ゲート 既設直付型 標準図 (2/2)		
作成年月日	令和6年3月		
図尺	図示	図面番号	12-2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良園営管理事務所		

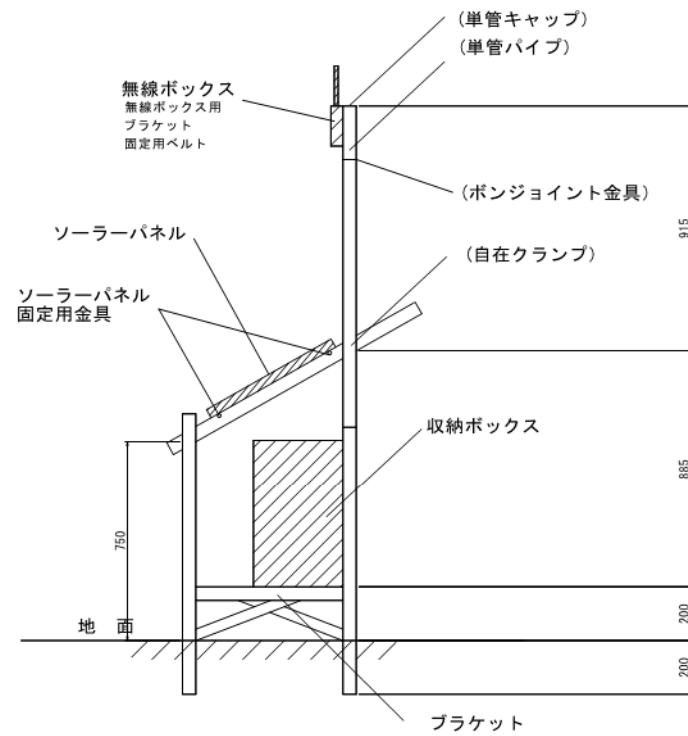
S=1 : 10

S=1 : 10

正 面 图



断面図



業 務 名	令和5年度ICTモデル事業 大阪府上流河川水管理能力向上促進設備整備工事		
図面名	通信中継器構造図		
作成年月日	令和 6 年 3 月		
縮 尺	5:1:10	図面番号	13
会社名			
事業所名	九州農政局 北九州土地改良園舎管理事務所		